

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第27週 > ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-14

< 麻しん > 第27週の報告数は15都道府県から132例あり、千葉県、神奈川県、東京都の順に多かった

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第27週の報告数は141例で、累積報告数は1,136例となった



病原体情報
P.15-18

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年 / 麻疹ウイルス 2008年 / 咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス 2008年



速報
P.19-21

平成20年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について(通知) / 倉敷市における第2期麻しん風しん予防接種率向上に向けての取り組み



海外感染症情報
P.22

ウガンダからオランダへのマールブルグ出血熱の輸入症例



感染症の話
P.23

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(27週)
P.24-29



27週のデータ
P.30-42



発生動向総覧

2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

< 第27週コメント > 7月9日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核351例

3類感染症

細菌性赤痢7例

感染地域: 静岡県1例、長崎県1例、国内(都道府県不明)1例、中国1例、フィリピン1例、インド1例、メキシコ1例

腸管出血性大腸菌感染症141例(有症者65例、HUS 4例、死亡1例)

感染地域: 富山県20例¹⁾、山形県19例²⁾、秋田県16例³⁾、群馬県10例、東京都9例、沖縄県8例、福岡県7例、鹿児島県7例、岐阜県6例、千葉県4例、三重県4例、埼玉県3例、宮城県2例、愛知県2例、大阪府2例、兵庫県2例、広島県2例、山口県2例、神奈川県1例、福井県1例、滋賀県1例、京都府1例、和歌山県1例、徳島県1例、国内(都道府県不明)8例、韓国1例、米国1例

¹⁾うち19例は、第26週の3例とともに保育園での集団発生、²⁾うち14例は、第26週の1例とともに小学校での集団発生、³⁾うち14例は、第26週の15例とともに宅配弁当関連の集団発生

年齢群: 0歳(2例)、1歳(4例)、2歳(9例)、3歳(8例)、4歳(10例)、5歳(9例)、6歳(5例)、7歳(3例)、8歳(3例)、9歳(4例)、10代(23例)、20代(12例)、30代(16例)、40代(4例)、50代(8例)、60代(6例)、70代(5例)、80代(7例)、90代(3例)

血清型・毒素型: O26 VT1(48例)、O157 VT1・VT2(44例)、O157 VT2(13例)、O111 VT1(12例)、O111 VT1・VT2(3例)、O157 VT1(2例)、O26 VT1・VT2(1例)、O103 VT1(1例)、O121 VT2(1例)、O145 VT1(1例)、O145 VT2(1例)、その他・不明(14例)

腸チフス1例

感染地域: インド

4類感染症

A型肝炎1例

感染地域: インド

オウム病1例

感染地域: 福島県

感染源: インコ

つつが虫病1例

感染地域: 宮城県

デング熱1例

感染地域: タイ

日本紅斑熱1例

感染地域: 千葉県

マラリア1例

熱帯熱__感染地域: カメルーン

野兔病2例 感染地域: 青森県2例
 感染源: 変死した野兔の解剖2例

レジオネラ症15例(肺炎型15例)
 感染地域: 岩手県2例(温泉2例)、長野県2例、宮城県1例(温泉)、
 埼玉県1例、千葉県1例(温泉)、静岡県1例、三重県1
 例、大阪府1例、兵庫県1例、広島県1例、長崎県/大分
 県1例(温泉)、国内(都道府県不明)2例
 年齢群: 40代(2例)、50代(4例)、60代(4例)、70代(3例)、80代(2
 例)

5類感染症

アメーバ赤痢8例(腸管アメーバ症7例、腸管及び腸管外アメーバ症1例)
 感染地域: 神奈川県2例、岩手県1例、東京都1例、滋賀県1例、大
 阪府1例、国内(都道府県不明)1例、台湾1例
 感染経路: 性的接触4例(異性間3例、同性間1例)、経口感染3例、
 不明1例

ウイルス性肝炎2例 B型肝炎2例(うち1例死亡)
 感染経路: 性的接触(異性間)1例、不明1例

クロイツフェルト・ヤコブ病2例(孤発性プリオン病古典型2例)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例
 年齢群: 90代

後天性免疫不全症候群8例(無症候3例、AIDS 5例)
 感染地域: 国内8例
 感染経路: 性的接触5例(異性間1例、同性間2例、異性/同性間2
 例)、注射器1例、刺青1例、不明1例

ジアルジア症1例 感染地域: 国内(都道府県不明)

梅毒9例(早期顕症I期1例、早期顕症II期6例、無症候2例)

破傷風2例 年齢群: 50代(1例)、70代(1例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例(遺伝子型: *VanB* 2例) 菌検出検体: 尿1例、血液1
 例)

風しん3例(臨床診断例3例)
 感染地域: 長野県1例、大阪府1例、岡山県1例
 年齢群: 1歳(1例)、20～24歳(1例)、40代(1例)

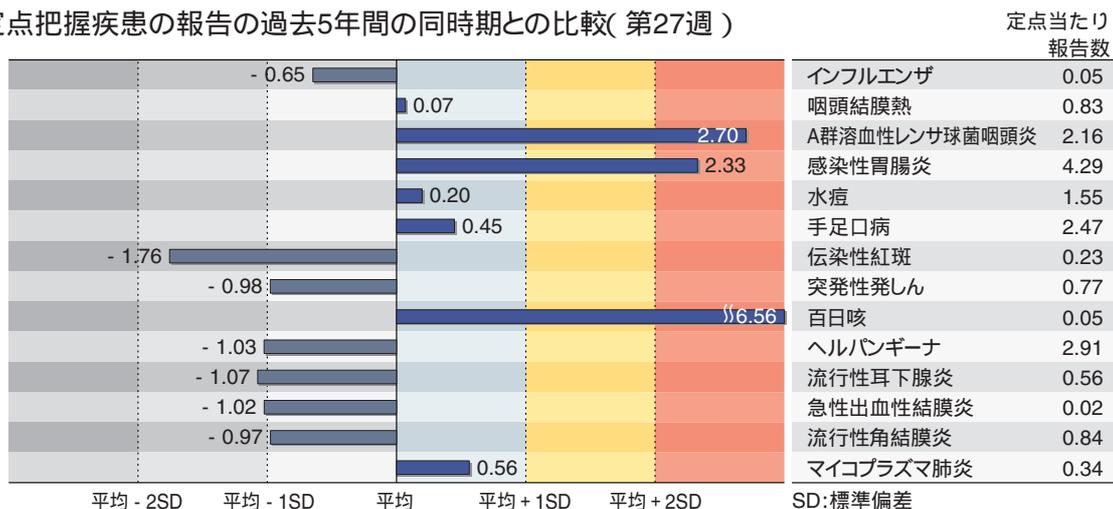
麻しん132例 [麻しん(検査診断例34例、臨床診断例88例)、修飾麻しん(検査
 診断例10例)]
 感染地域: 国内132例
 国内の多い感染地域: 千葉県58例、神奈川県20例、東京都16例
 年齢群: 0歳(7例)、1歳(6例)、2歳(1例)、3歳(2例)、4歳(1例)、5
 ～9歳(9例)、10～14歳(17例)、15～19歳(45例)、20～24
 歳(22例)、25～29歳(10例)、30～34歳(5例)、35～39歳
 (5例)、40代(2例)
 累積報告数: 10,037例[麻しん(検査診断例2,772例、臨床診断例
 6,405例)、修飾麻しん(検査診断例860例)]

(補)他に2008年第26週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢2例(感染地域: 北
 海道1例、タイ1例)、腸チフス1例(感染地域: インドネシア)、日本紅斑熱1例(感染地域: 島根
 県)、急性脳炎3例(病原体不明3例(6歳、30代、60代))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1
 例(60代、死亡)、風しん4例[検査診断例1例、臨床診断例3例、感染地域: 大阪府2例、東
 京都1例、三重県1例、年齢群: 3歳(2例)、10～14歳(1例)、70代(1例)]などの報告があっ
 た。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第27週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は第22週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(2.21)、岡山県(0.18)、新潟県(0.13)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症は139例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では鹿児島県(2.11)、新潟県(1.62)、埼玉県(1.36)、滋賀県(1.18)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では埼玉県(3.9)、千葉県(3.8)、山口県(3.6)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第22週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大分県(6.6)、宮崎県(6.6)、福井県(6.1)が多い。

水痘の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では長野県(2.87)、山形県(2.67)、新潟県(2.53)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第15週以降増加が続いている。都道府県別では宮崎県(13.0)、鹿児島県(9.4)、大分県(7.3)、石川県(6.9)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(0.85)、岩手県(0.63)、長野県(0.55)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では栃木県(0.25)、新潟県(0.22)、千葉県(0.17)、和歌山県(0.13)が多い。

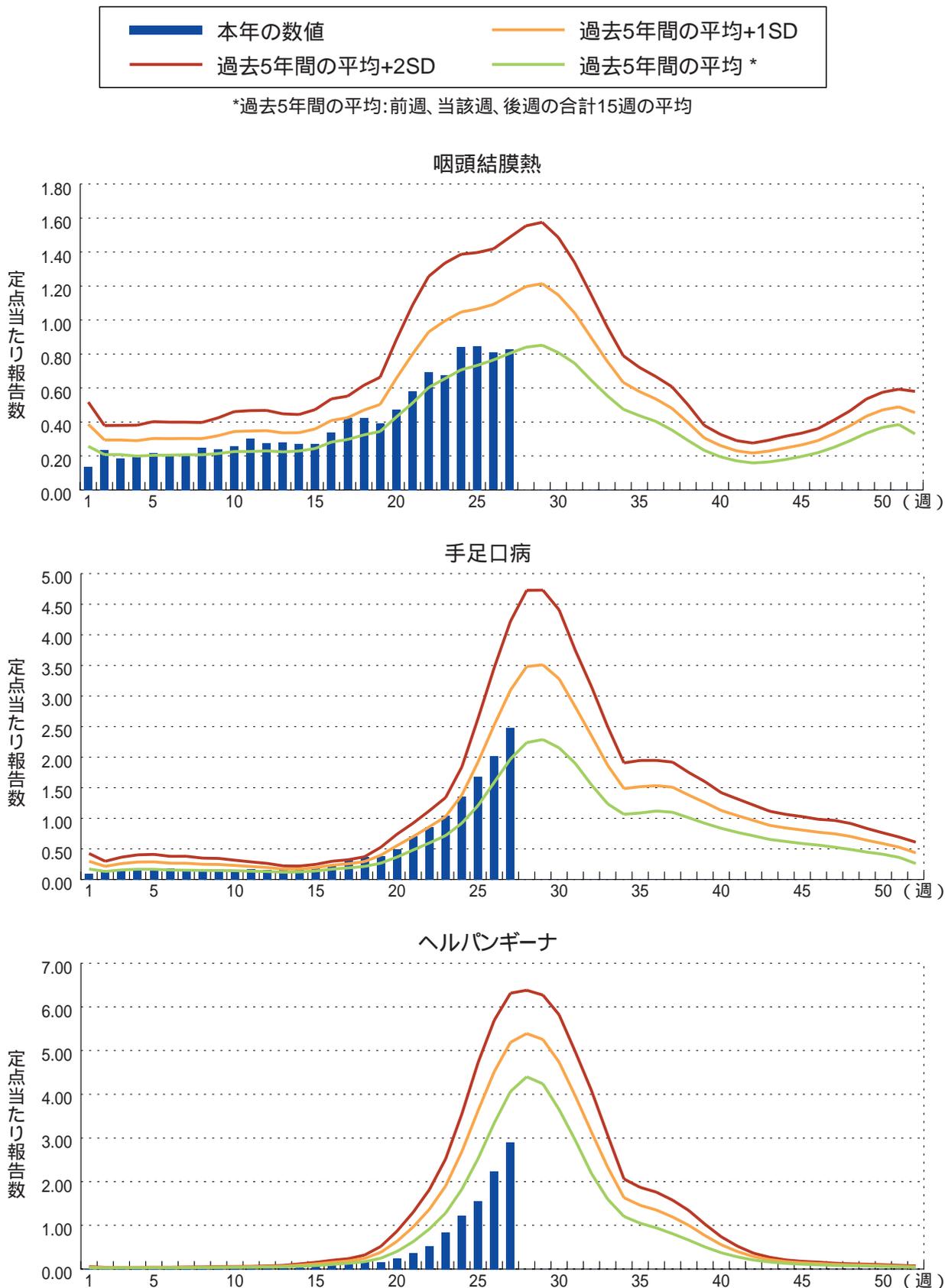
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている。都道府県別では愛媛県(9.4)、群馬県(6.9)、愛知県(5.2)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では佐賀県(2.96)、宮崎県(2.08)、岐阜県(2.04)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では沖縄県(3.00)、富山県(2.00)、埼玉県(1.56)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2008年第1～27週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

麻疹

麻疹は「はしか」とも呼ばれ、麻疹ウイルス(Paramyxovirus科Morbillivirus属)によって引き起こされる感染症で、39℃前後の高熱と耳介後部から始まって体の下方へと広がる赤い発疹を特徴とする全身性疾患である。麻疹に対して免疫を持たない者が感染した場合、典型的な臨床経過としては10～12日間の潜伏期を経て発症し、カタル期(2～4日間)、発疹期(3～5日間)、回復期へと至る。一方、ヒトの体内に入った麻疹ウイルスは、免疫を担う全身のリンパ組織を中心に増殖し、一過性に強い免疫不全状態を生じるため、麻疹ウイルスそのものによるものだけでなく、細菌の二次感染による肺炎や中耳炎などの合併症も生じうる。また、発生頻度は低いものの、麻疹ウイルスによる脳炎や、罹患後7～10年の期間を経て発症する亜急性硬化性全脳炎(SSPE)などの合併症もある。麻疹は接触感染、飛沫感染、空気感染(飛沫核感染)のいずれの感染経路でも感染し、発症した場合に麻疹に特異的な治療方法はない。手洗い、マスク等の感染対策も十分に効果的な予防手段とは言えず、唯一の有効な予防方法はワクチンの接種によって麻疹に対する免疫を予め獲得しておくことである。

2008年の1月1日から開始された麻疹の全数把握調査によると、第27週(6月30～7月6日診断のもの)の麻疹患者発生報告数は7月9日現在で15都道府県から132例あり、都道府県別では千葉県63例、神奈川県24例、東京都12例、埼玉県6例、京都府6例、北海道5例の順となっている(図1、図2)。第22週以降は千葉県からの報告が最も多い状態が続いている。累積報告数は、第1週から第27週までに47都道府県から10,037例であり、第27週目で1万例を超えた。都道府県別では神奈川県3,345例、北海道1,384例、東京都1,063例、千葉県907例、福岡県658例、埼玉県352例、大阪府337例、静岡県217例、愛知県184例、秋田県156例の順となっている(図3)。2008年初頭から継続していた神奈川県、東京都、埼玉県の南関東地域の流行は、沈静化へむかっていると思われる一方で、千葉県では、5月10～11日に開催された高校の柔道大会を契機に、15～19歳の年代の報告数が増加した。同県の麻疹患者の報告数は、柔道大会以降の第21～27週だけで2008年の総累積報告数907例の半数を超える502例に達している。

図1. 麻疹報告数の週別推移(2008年第1～27週)

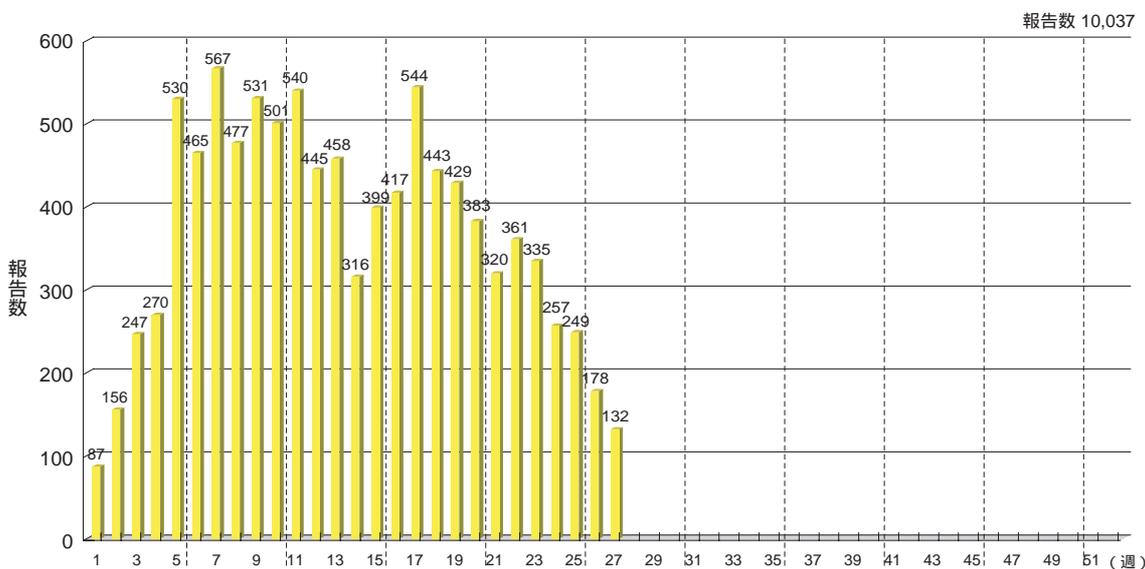


図2. 麻しんの都道府県別報告状況(2008年第27週)

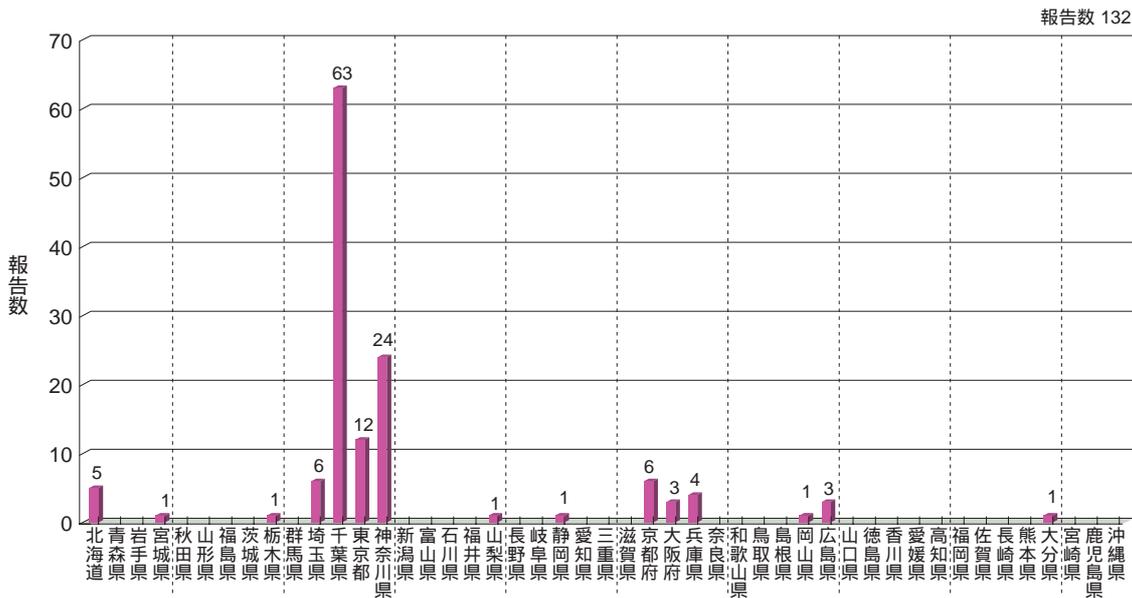
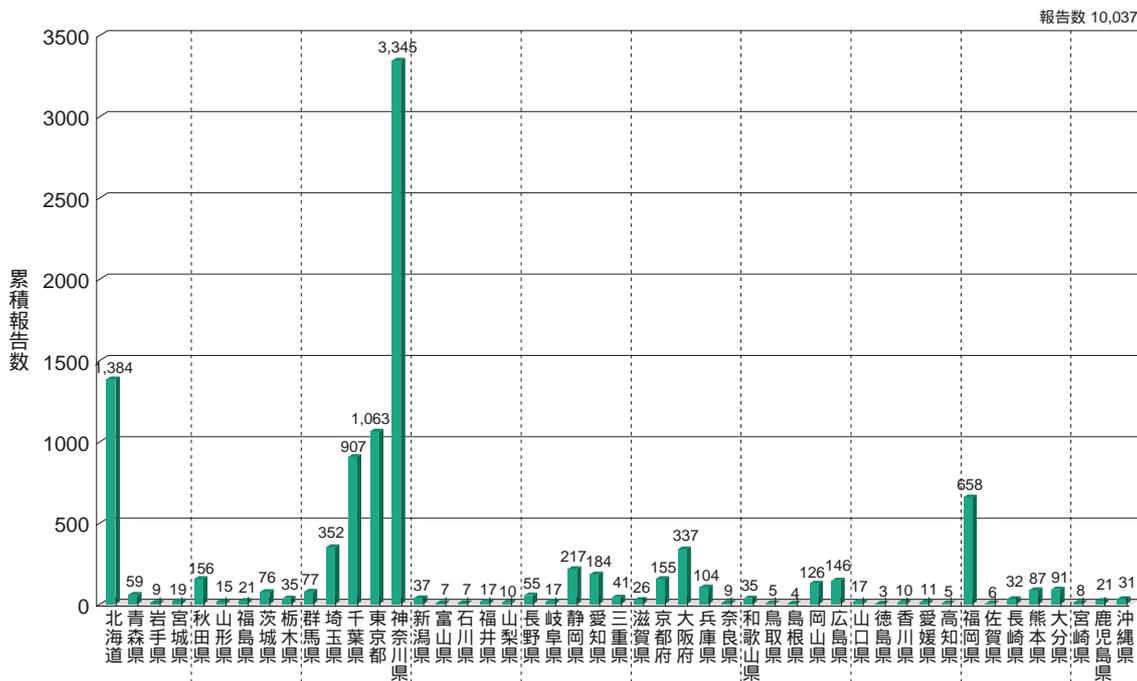
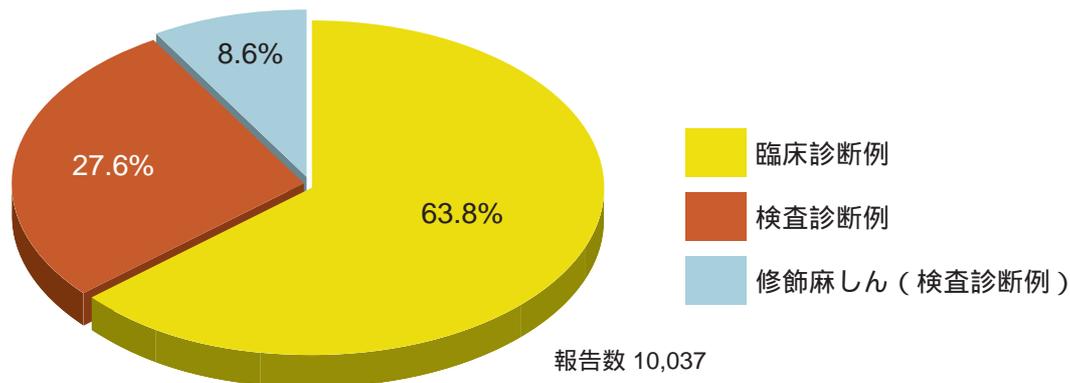


図3. 麻しんの都道府県別累積報告状況(2008年第1～27週)



病型別累積報告数は、臨床診断例6,405例(63.8%)、検査診断例2,772例(27.6%)、修飾麻しん(検査診断例)860例(8.6%)となっており、臨床診断例が最多である(図4)。

図4. 麻しん累積報告数の病型別割合(2008年第1～27週)



年齢群別では15～19歳2,713例(27.0%)、10～14歳1,722例(17.2%)、0～4歳1,406例(14.0%)、20～24歳1,304例(13.0%)、25～29歳975例(9.7%)、5～9歳855例(8.5%)の順となっている。10～20代前半からの報告割合が半数以上を占めており、30歳未満からの報告数が全体の90%近くを占めている(図5)。各年齢別の報告数をみると、15歳709例、16歳668例、17歳535例、0歳527例、1歳503例、14歳483例、18歳411例、13歳398例の順であり、14～17歳が現在の患者発生の中心である状態が続いている(図6)。

図5. 麻しん累積報告数の年齢群別割合(2008年第1～27週)

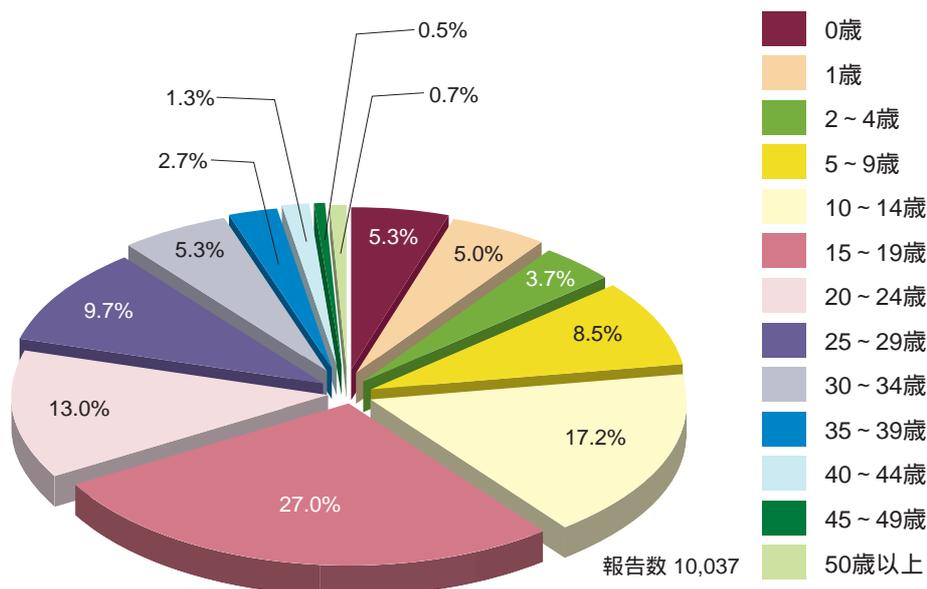
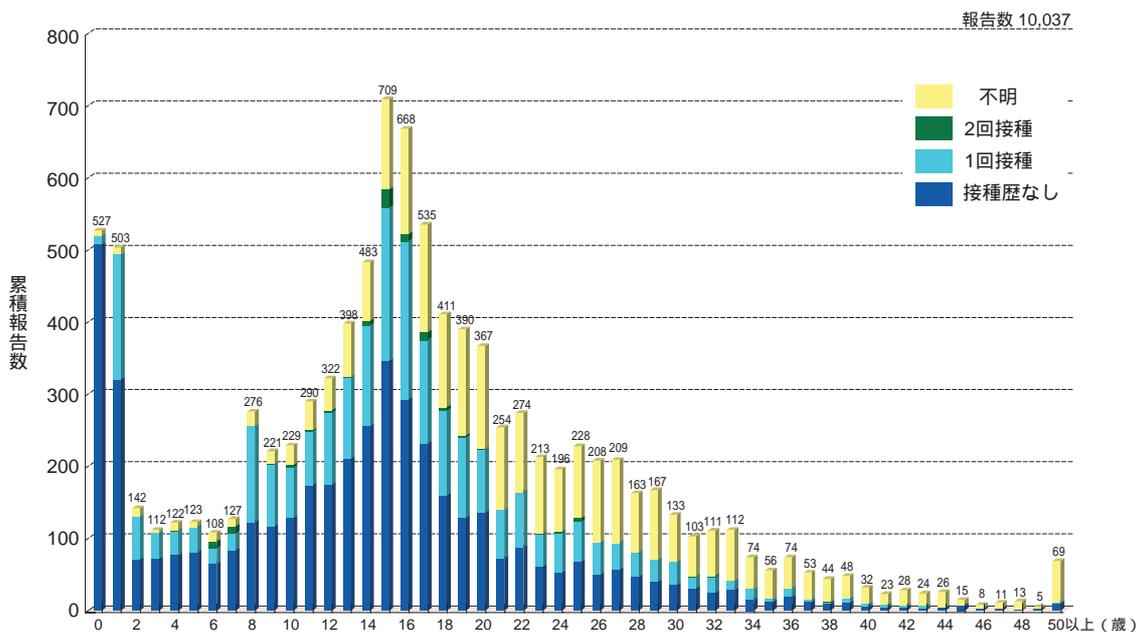
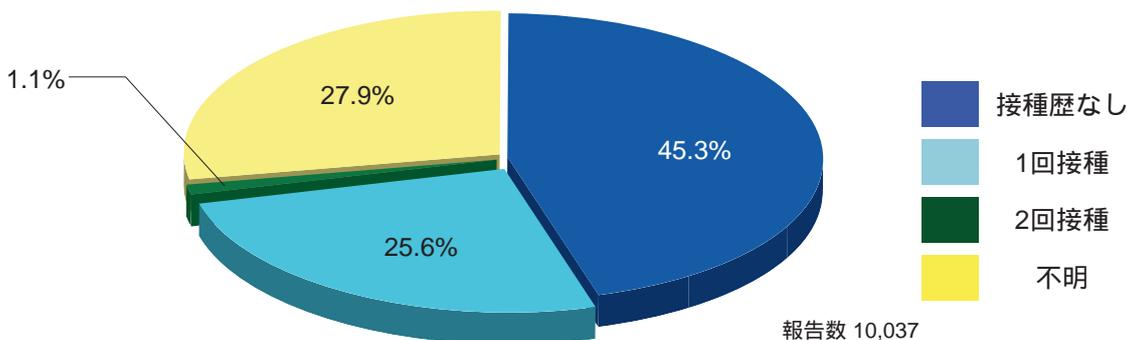


図6. 麻しん累積報告数のワクチン接種歴別年齢分布(2008年第1 ~ 27週)



麻しん含有ワクチンの接種歴別の報告数は、全体では接種歴なし4,549例(45.3%)、1回接種2,573例(25.6%)、2回接種113例(1.1%)、接種歴不明2,802例(27.9%)となっており、接種歴のない者が最も多く、次いで接種歴不明者、1回接種者の順となっている(図7)。年齢が高くなる程発病者中に占める接種歴不明者の割合が多い(図6)。

図7. 麻しん累積報告数のワクチン接種歴別割合(2008年第1 ~ 27週)



脳炎合併例はこれまでに6例報告されており、すべて10代以上(表)であり、このうち麻疹含有ワクチンの接種歴の無いものが4例、1回接種1例(親の記憶による確認)、接種歴不明1例だった。第1～27週までに死亡例の報告はない。

表. 脳炎合併の報告があった麻疹症例(2008年第1～27週)

診断週	感染地域	報告都道府県	性別	年齢	接種歴
第4週	北海道	北海道	女	10代	無
第4週	神奈川県	神奈川県	男	20代	無
第5週	神奈川県	神奈川県	男	30代	無
第9週	北海道	北海道	女	20代	無
第16週	千葉県	東京都	女	40代	不明
第27週	東京都	北海道	女	20代	1回接種(1歳時) [*]

親の記憶による確認

麻疹の報告数は、第1のピークが第7週にあり、春期休暇明けの第17週が第2のピークとなった。この、第2のピークであった第17週以降は、減少傾向が続いている。しかし、千葉県の事例のように、スポーツの対外試合が集団発生の契機になることや、旅行中に発症した麻疹患者が、滞在先で流行の契機になる可能性もあるため、多くの学校等が夏期休暇に入る今後、引き続き発生動向には注意が必要である。

2008年4月1日より、1回しかワクチンを接種していない年齢層に対する補足的ワクチン接種を目的とした5年間の期限付き措置として、第3期(中学校1年生相当年齢)、第4期(高校3年生相当年齢)の定期予防接種が始まり、中学校、高校などでは、麻疹未罹患患者や麻疹含有ワクチン接種状況の把握が行われるようになってきている。第3期、第4期の定期予防接種対象者で、まだ接種を済ませていない者は、夏休みなどの機会を利用して、早めに接種を受けることが勧められる。

以下に、麻疹関連情報として感染症情報センターのホームページに掲載されている主な項目とそのURLを挙げる。麻疹対策として活用いただければ幸いである。

麻疹(はしか): <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>

緊急情報「2012年麻疹排除(Elimination)に向けて」

「麻疹」の届出基準・届出様式、「風疹」の届出基準・届出様式、ポスター

2008年4月1日以降の予防接種スケジュール

2008～2012年度麻疹・風疹の定期予防接種対象者

第3期・第4期予防接種勧奨リーフレット

対策・ガイドラインなど

麻疹の現状と今後の麻疹対策について
都道府県における麻しん対策会議のガイドライン
学校における麻しん対策ガイドライン
麻しん排除に向けた積極的疫学調査ガイドライン第二版
医師による麻しん届け出ガイドライン第二版
医療機関での麻疹対応ガイドライン第二版
「麻しん対策ブロック会議」関連資料等

国内情報

注目すべき感染症/速報
麻しん発生状況(速報グラフ)
麻しん施設別発生状況(学校欠席者数)
病原微生物検出情報 IASR [麻疹特集・速報、ウイルス分離・検出状況他)
高い接種率を達成した自治体における接種率向上への取り組み
平成19年度定期の予防接種(麻しん風しん第2期)の実施状況の調査結果について(第1報)
平成19年度定期の予防接種(麻しん風しん第2期)の実施状況の調査結果について(第2報)
わが国の健常人における麻疹PA抗体保有状況

関連情報

麻しんに関する特定感染症予防指針
予防接種法施行令の一部を改正する政令 ~ 定期予防接種対象者に関する改正 ~
「定期の予防接種の実施について」の一部改正 ~ 定期(一類疾病)の予防接種実施要領の改正 ~

Q & A : <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/QA.html>

予防接種の話「麻疹」: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/b-measles.html>

年齢別麻疹、風疹、MMRワクチン接種率: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/atopics/atpcs001.html>

感染症の話「麻疹」: http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_03/k03_03.html

麻疹発生DB(データベース): <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/meas-db.html>

「麻疹・風疹ワクチンなぜ2回接種なの?」ポスター: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn01.html>

「麻疹風疹混合ワクチンを1歳のお誕生日のプレゼントにしましょう」ポスター:

<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn04.html>

「小学校入学準備に2回目の麻疹・風疹ワクチンを!」ポスター:

<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn07.html>

麻疹教育啓発ビデオ「はしかから身を守るために」:

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/Video/measlesVideo.html>

Surveillance, Focus, Measles“ Measles update in Japan as of end of week21(28 May 2008)”:

http://idsc.nih.go.jp/disease/measles_e/idwr200821.html

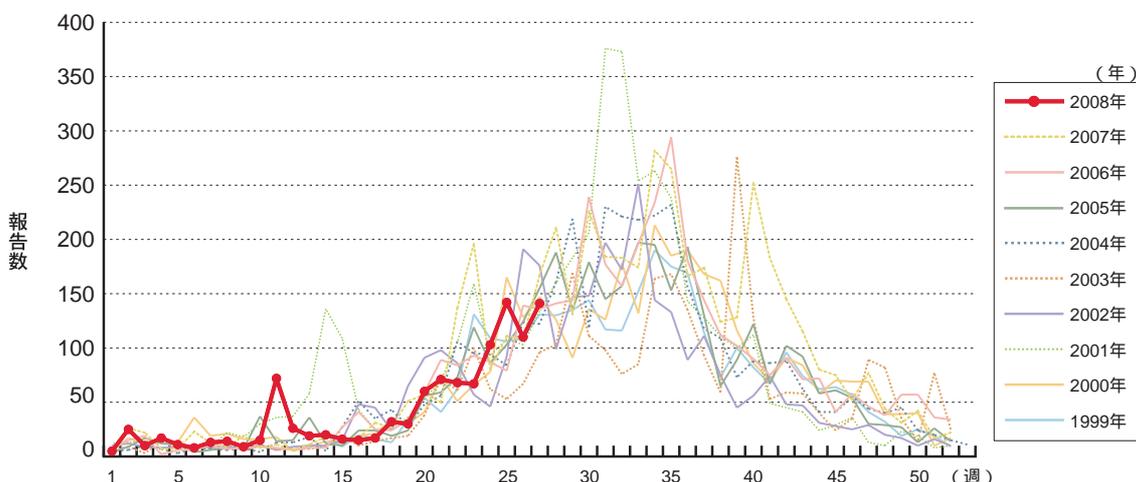
腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、感染症法の3類感染症として、無症状病原体保有者を含む症例の報告が、診断した全ての医師に義務付けられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者等での検便によって偶然発見される場合もあるが、届け出された患者と食事をともにした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。届出の基準としては、大腸菌の分離・同定かつ分離菌におけるベロ毒素の確認が必要であるが、2006年4月以降は、溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例に限り、便からのベロ毒素の検出や血清抗体(O抗原凝集抗体あるいはベロ毒素抗体)の検出によって診断された場合も届出の対象とされている。

2008年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、例年報告数の少ない第11週に一時的に増加した。これは佐賀県でオーストラリアへ修学旅行に行った高校生がO26 VT1に多数感染し、帰国した生徒から感染した家族の報告を含め、第10～13週にかけて計76例が報告されたためである(IDWR 第10巻 第20号「速報」参照)。その後第18週から徐々に増加し始め、第24週から急増し、第24週以降100～150例で推移している。第27週は141例であった(図)。本年第27週までの累積報告数1,136例は、2000年以降では2001年、2007年、2002年に次いで4番目に多い(2000年1,083例、2001年1,481例、2002年1,161例、2003年743例、2004年1,026例、2005年1,068例、2006年1,036例、2007年1,234例)。

第27週に報告のあった141例は、有症状者が65例(46%)で、無症状病原体保有者が76例(54%)であった。都道府県別にみると、富山県(20例)、山形県(19例)、秋田県(16例)からの報告が多く、次いで東京都(11例)、群馬県(10例)の順に多かった。富山県では第26週から保育施設における集団発生(O26 VT1)により、山形県では小学校における集団発生(O111 VT1)により、秋田県では宅配弁当を介した集団発生(O157 VT1・VT2)により報告が増加している。性別では男性72例、女性69例であり、年齢群別では0～9歳57例、10～19歳23例、30～39歳16例の順に多かった。

図. 腸管出血性大腸菌の年別・週別発生状況(1999年第14週～2008年第27週)



第1～27週の累積報告数1,136例についてみると、報告の多い都道府県は、佐賀県(80例)、東京都(69例)、神奈川県(66例)、京都府(65例)、福岡県(63例)であった。性別では男性528例、女性608例であり、年齢群別では0～9歳320例、10～19歳238例、20～29歳177例の順に多かった。

溶血性尿毒症症候群(HUS)は、第27週までに17例報告があった(表)。17例のうち5例は、菌の分離はされなかったが、血清抗体の検出により届け出られたものである。また、年齢は0～4歳が8例、5～9歳が2例、10代が6例、50代が1例となっており、17例中14例が15歳未満の小児であった。また、第27週に60代女性患者(O157 VT2)の死亡例が1例報告され、本年初の死亡例となっている。

HUSなどの合併症や死亡については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があるため、発生があった場合の追加・修正報告を自治体に依頼している。

表. 溶血性尿毒症症候群(HUS)届出症例(n=17)(2008年第1～27週)

診断週	都道府県	年齢	O血清群	推定される感染源**
第2週	大阪府	2	157	不明
第2週	大阪府	2	157	肉のたたき
第8週	北海道	4	157	不明
第16週	愛媛県	7	157*	生レバー
第18週	愛媛県	10代	157*	牛生レバー
第18週	新潟県	3	157	不明
第21週	和歌山県	2	157	不明
第24週	沖縄県	1	157	不明
第25週	群馬県	10代	157	ユッケ
第26週	秋田県	10代	157	宅配弁当
第26週	秋田県	10代	157*	宅配弁当
第26週	東京都	3	157	不明
第26週	東京都	10代	157	不明
第27週	東京都	10代	157*	生肉
第27週	三重県	9	157	不明
第27週	徳島県	3	157*	不明
第27週	鹿児島県	50代	157	生レバー

* 血清抗体(O抗原凝集抗体)の検出による

** 感染源は推定または確定として届け出されたものを記載

本年第27週までに既に保育施設、学校等での集団発生が報告されている。特に、保育施設における集団発生は例年散見されており、日ごろからの注意として、オムツ交換時の手洗い、園児に対する排便後・食事前の手洗い指導の徹底が重要である。また、これからの季節は簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。動物との接触による感染と推定される事例も報告されているので、動物との接触後の手洗いにも気をつけたい。

また、近年、生肉や生レバーが感染源と見られる届出が多く認められている。本年第1～27週までの累積報告1,136例の感染源をみると、飲食物の経口感染と報告されたものが473例であり、このうち生肉・生レバーが78例、焼肉・バーベキューを含めると肉に関連するものは120例あった。HUS発症例においても、17例中6例が生肉・生レバーが感染源とされている(表)。特に小児、高齢者や抵抗力の弱い者などでは肉・レバーなどの食品はよく加熱し、生食は控える必要がある。食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。

その他、最近では自治体をまたいだ広域発生事例も散見されており、食材・食品の流通の観点も併せ、事例調査における自治体間の連携がますます重要となってきている。

毎年本症が数多く発生する夏季を迎えるにあたり、今後の発生動向には注意が必要である。

(補)菌の検出状況については、<http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-lj.html>をご参照ください。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2008年7月10日現在報告分)

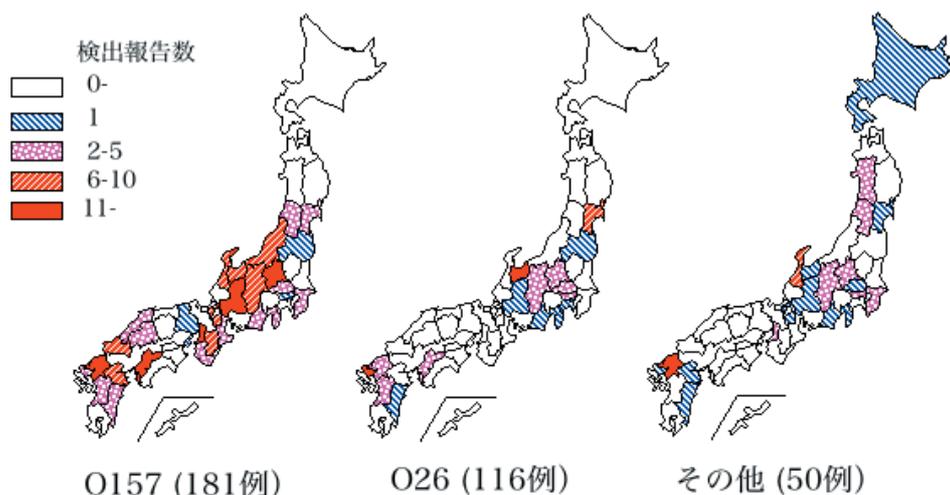
ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年

2008年の検出総数は347件で、O157が181件、O26が116件、その他の血清型が50件報告されている。O157は、第27週までに岐阜県17件、大阪府16件、愛媛県15件、福岡県13件、群馬県11件、奈良県10件、富山県、長野県、大分県各9件、石川県7件、新潟県、滋賀県、山口県各6件など28都府県から報告されている。O26は佐賀県76件、富山県11件、宮城県6件など15都県から、その他の血清型は福岡県16件、石川県6件など19都道府県から報告されている。

このうち、集団発生事例ではO157が2008年第10～13週に大分県で9件、第12～13週に島根県で3件、第17週に愛媛県で3件、保育園児と家族から検出され、O26が第10～12週に佐賀県でオーストラリアへ修学旅行に行った集団とその家族から76件、第26～27週に富山県で保育園児と家族から9件検出されている。その他に福井県から飲食店での生レバー等の喫食を原因とするO157集団発生が報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2008年

(病原微生物検出情報：2008年7月10日現在報告数)

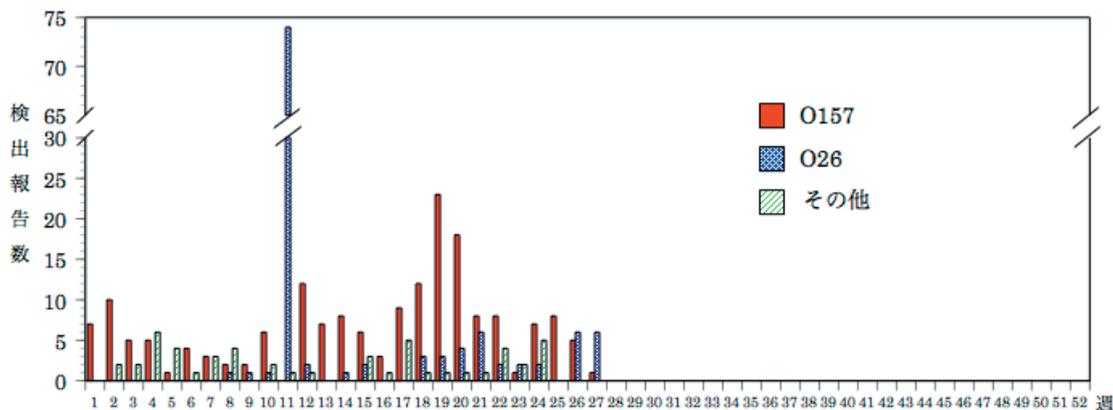


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2008年 (病原微生物検出情報：2008年7月10日現在報告数)

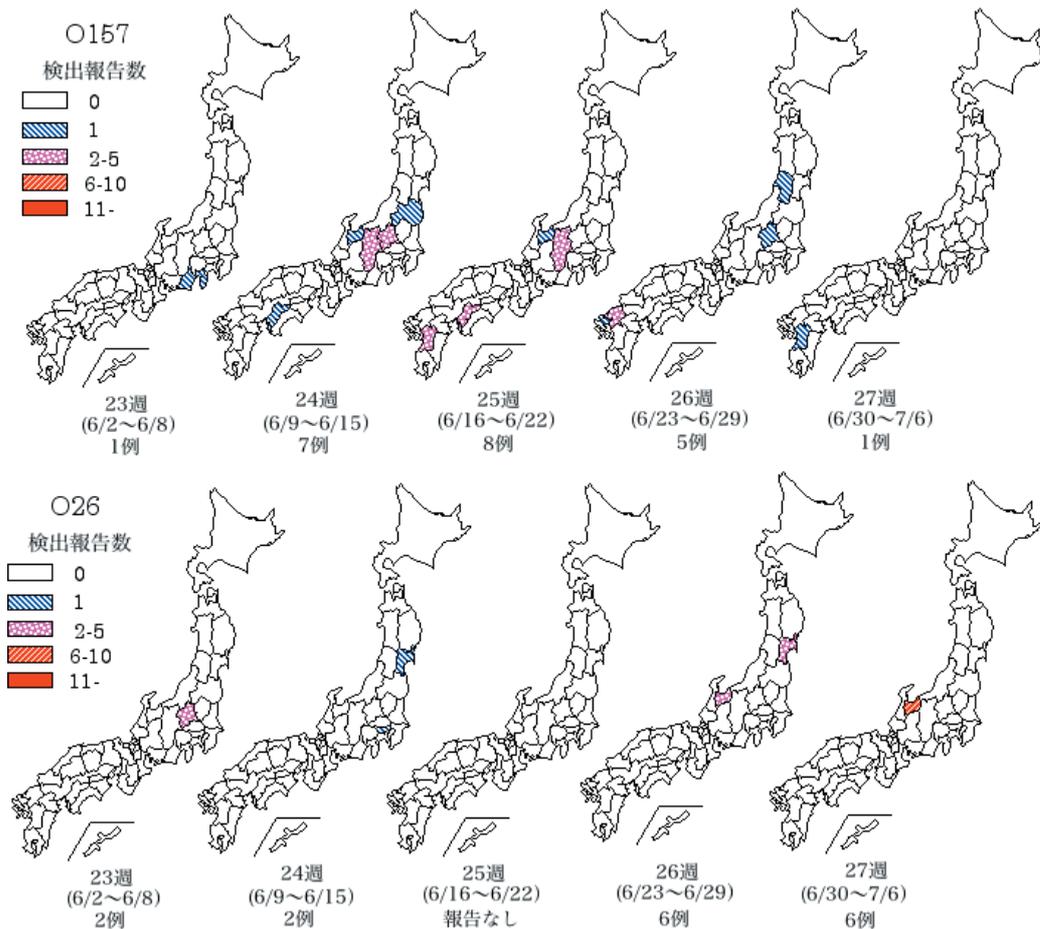


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

週別都道府県別Vero毒素産生性大腸菌O157&O26分離報告状況、2008年 (病原微生物検出情報：2008年7月10日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



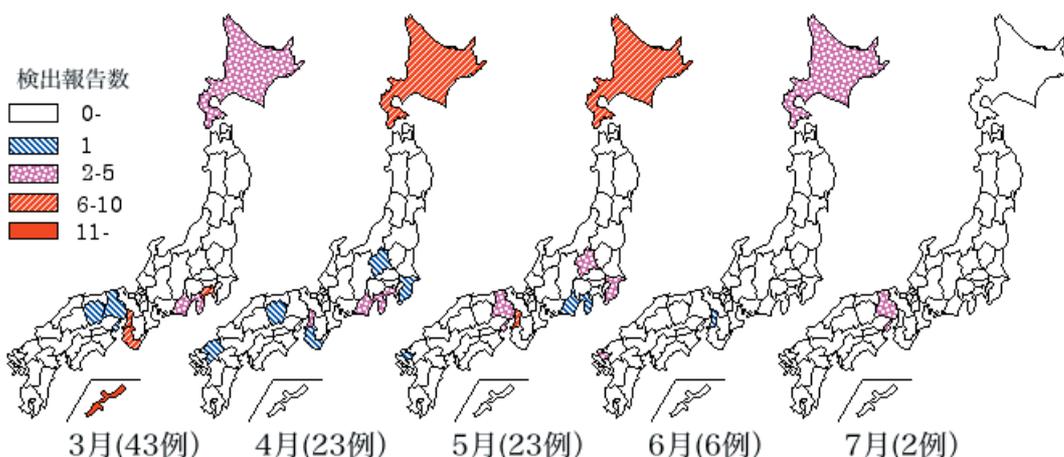
Infectious Agents Surveillance Report

麻疹ウイルス 2008年

2008年1～7月に秋田県25件、北海道20件、大阪府19件、沖縄県16件、神奈川県、兵庫県各14件、和歌山県7件、千葉県、静岡県各6件、群馬県、埼玉県各4件、佐賀県3件、石川県、岡山県、熊本県各2件、東京都、三重県、島根県、福岡県各1件、計148件の麻疹ウイルスの分離・検出が報告されている。このうち、遺伝子型別まで実施された111件中103件ではD5型が検出されており、他にはH1型5件(3月大阪府3件、5月千葉県2件、いずれも渡航歴無し)、A型3件(ワクチン接種後2週間以内に採取された検体から)が検出されている(<http://idsc.nih.gov.jp/iasr/measles.html>)。

月別都道府県別麻疹ウイルス分離・検出報告状況、2008年3月～7月

(病原微生物検出情報：2008年7月10日現在報告数)



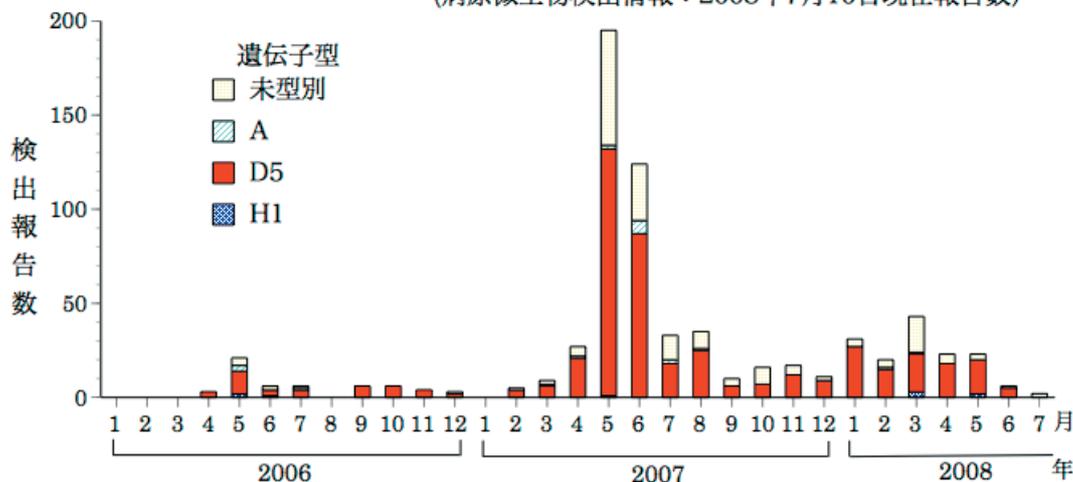
*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2006年1月～2008年7月

(病原微生物検出情報：2008年7月10日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



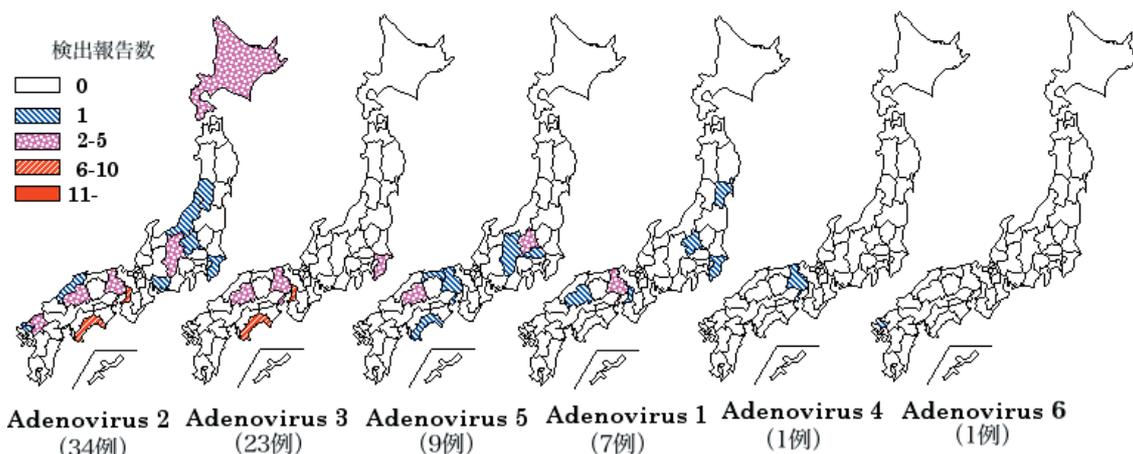
Infectious Agents Surveillance Report

咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス 2008年

2008年第1～25週までにアデノウイルス(Ad)2型が14道府県から34件、Ad3が5府県から23件、Ad5が7県から9件、Ad1が6府県から7件、Ad4が兵庫県から1件、Ad6が佐賀県から1件の検出が報告されている。

都道府県別咽頭結膜熱患者からの主なアデノウイルス分離・検出報告状況、2008年

(病原微生物検出情報：2008年7月10日現在報告数)

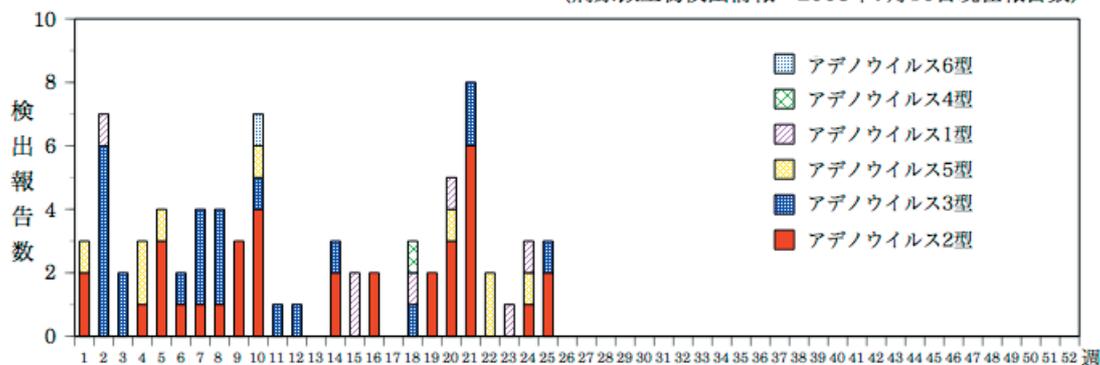


*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



週別咽頭結膜熱患者からのアデノウイルス分離・検出報告数、2008年

(病原微生物検出情報：2008年7月10日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した





平成20年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について(通知)

薬食発第0617007号

平成20年6月17日

国立感染症研究所長殿

厚生労働省医薬食品局長

生物学的製剤基準(平成16年3月30日厚生労働省告示第155号)の規定にかかる平成20年度のインフルエンザHAワクチン製造株について、下記のとおり決定したので通知する。

記

A型株

A/ブリスベン/59/2007(H1N1)

A/ウルグアイ/716/2007(H3N2)

B型株

B/フロリダ/4/2006

麻しん風しん第2期接種率向上の取り組み事例 - 3 第2期麻しん風しん予防接種率向上に向けての取り組み

倉敷市保健所保健課

はじめに

倉敷市は人口478,507人(平成20年5月末)、出生数は4,701人(平成19年度)の中核市で、予防接種は医療機関全面委託による個別接種で実施している。予防接種の担当窓口は保健所保健課感染症係(結核、感染症、HIV、予防接種、肝炎事業担当)である。

当課において、接種率アップを最重点課題として数値目標を掲げ、感染症係では、特にまだまだ周知徹底が図られていない2期MRワクチンの接種率アップを図るべく、普及啓発に取り組んだ。

具体的な取り組み内容

平成18年度、倉敷市における2期の接種率は81.5%であった。今年度の目標をまずは、85%と定め取り組んだ。

平成18年度は、MRワクチンの2期接種勧奨は幼稚園、保育園を通じて保護者あての接種勧奨の文書とポスター掲示が中心であった。それに加え、平成19年度には市教育委員会、市保育課との連携を図った。まず、就学時健康診断にターゲットをあてた。教育委員会主催の就学前健康診断説明会で保健師が麻しんとMRワクチン接種の必要性について小学校の養護教諭、教務主任に対して話をした。この話を受け、各小学校養護教諭は、就学時健康診断時、保護者に対して接種勧奨をした。

次に行ったのが、市内幼稚園・保育園職員への周知徹底である。すべての公立・私立幼稚園の園長会、市立・民間保育園の園長会、主任会へ保健師が出向き上記同様に話し、対象園児、保護者への接種勧奨を依頼した。

あわせて対象児の保護者に対しては、オリジナルのPRチラシで周知を図った。

また医師会は、教育委員会に対して、接種証明書付きの接種勧奨文書の配布依頼をした。学校は、就学時健康診断時、未接種者に対し、早期接種を呼びかけ、一日入学時に接種証明を提出させた。さらに一日入学時に提出しなかった未接種児に関しては、3月31日までに接種した上で、入学時に持参するように周知させた。この接種証明書に係る費用は、医師会との申し合わせにより無料とされ、このことが一層強力な接種勧奨手段となった。

具体的な詳細な取り組み内容をまとめると以下のとおりである。

月	内容
4	市内幼稚園・保育園を通じて保護者あて案内文書を配布
5	予防接種実施医療機関、市内幼稚園、保育園へ市オリジナル作成のポスター配布
9	就学時健診説明会で麻しんとMRワクチン接種について説明
10～11	就学時健康診断にて養護教諭より保護者に対して接種勧奨
1	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルのPRチラシ作成し、市内幼稚園・保育園を通じて配布 ・市内全幼稚園・保育園の園長会、主任会で麻しんとMRワクチンについて説明と接種勧奨依頼 ・小学校一日入学にて未接種者の保護者に対し、再度接種勧奨
3	市内幼稚園・保育園を通じ、保護者あて最終接種勧奨

おわりに

保健所の予防接種担当係は一丸となってMR接種率向上のために、一連の取り組みを実施してきた。その結果、2期の接種率95.4%と、当初の目標値を大幅に上回る接種率を達成することができた。これは、保健所のみならず、医師会、教育委員会、保育課それぞれがMRワクチン接種率アップのため尽力し、連携して取り組みを展開できたからに他ならない。

今後もさらに接種率向上のため、普及啓発、接種勧奨活動を強化していきたいと考えている。

補)ポスター、チラシは<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/sokuhoumeas/0827p.pdf>、<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/sokuhoumeas/0827t.pdf>でご覧いただけます。



海外感染症情報

ウガンダからオランダへのマールブルグ出血熱の輸入症例

WHO/EPR 2008年7月10日

WHOは、オランダ政府より、ウガンダを訪れたオランダ人のマールブルグ出血熱(MHF)症例の報告を受けた。マールブルグウイルス感染は、ドイツのハンブルグにあるBernhard Nocht Instituteで行われた検査診断により確定された。

症例は、40歳女性で、2008年6月5～28日にウガンダを旅行し、2カ所の洞窟に入っていた。報告によると、この女性は6月16日に訪れたFort Portalにある洞窟では、オオコウモリを見なかったが、6月19日に訪れたQueen Elisabeth Park(クイーンエリザベス公園)とKabale(訳注:ウガンダ西部の町)の間に位置するMaramagambo Forestにある“python洞窟”でオオコウモリと遭遇した。この洞窟は、サハラ以南アフリカの他の地域において、フィロウィルス保有することが発見されたコウモリの種の繁殖場所と考えられている。フィロウィルスはマールブルグとエボラの2種類の出血熱を起こす。この洞窟にはコウモリの大群が見られており、女性は一匹のコウモリと直接接触があったことが報告されている。

女性は、6月28日、無症状でオランダへ帰国し、7月2日に発熱、悪寒を発症、7月5日に病院に入院した。7月7日、肝機能の悪化と激しい出血症状が起こり、今なお危篤状態である。

7月2日以降、接触者追跡調査が行われ、女性から無防備な状況で曝露を受けた可能性のある接触者に対しては体温監視が開始されている。MHFウイルス曝露の可能性のある他の場所を除外するためには更なる疫学調査が必要ではあるが、オランダの保健当局は、旅行業者に対して更なる情報が得られるまで“python洞窟”の訪問を避けるよう警告を発した。

現地のツアーガイド以外には、同じツアーに参加した他国の国民はいなかった。しかし、Maramagambo Forestのこの洞窟は観光名所として知られている。この女性が飛行機に搭乗したのは、発症の4日前であったため、同機の搭乗者に対する措置は取られなかった。

WHOはウガンダ保健省に対し、この事例に関する適切な調査を全国的に実施するよう通知するとともに、ウガンダ国民及び旅行者がコウモリがいる洞窟に入らないよう忠告を発するよう勧告した。

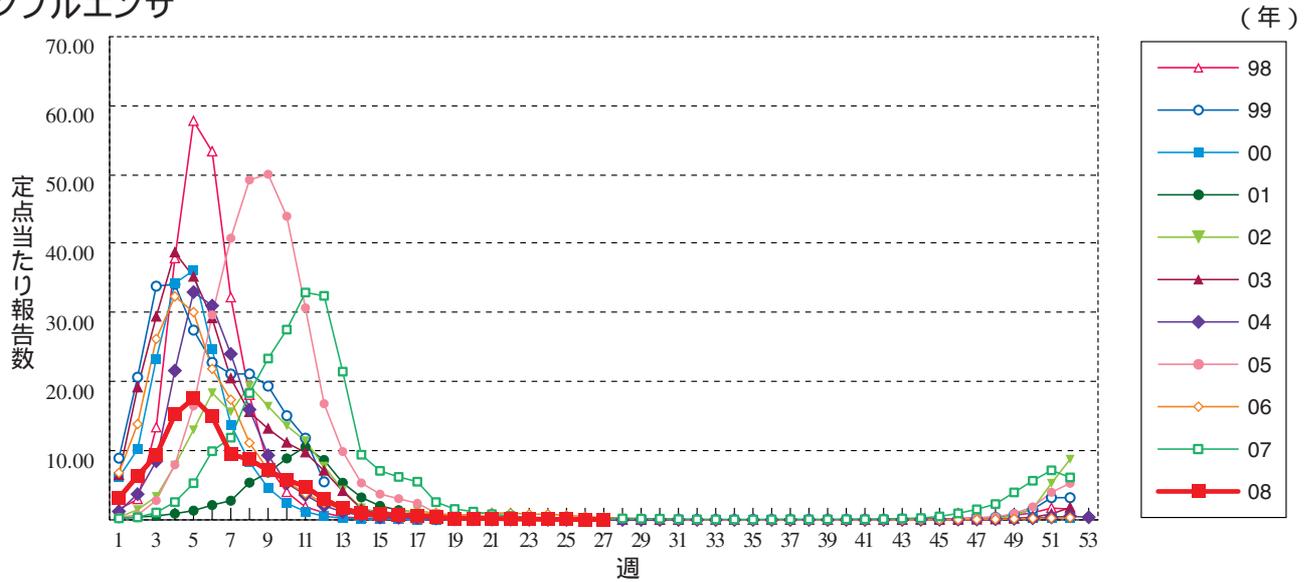


感染症の話

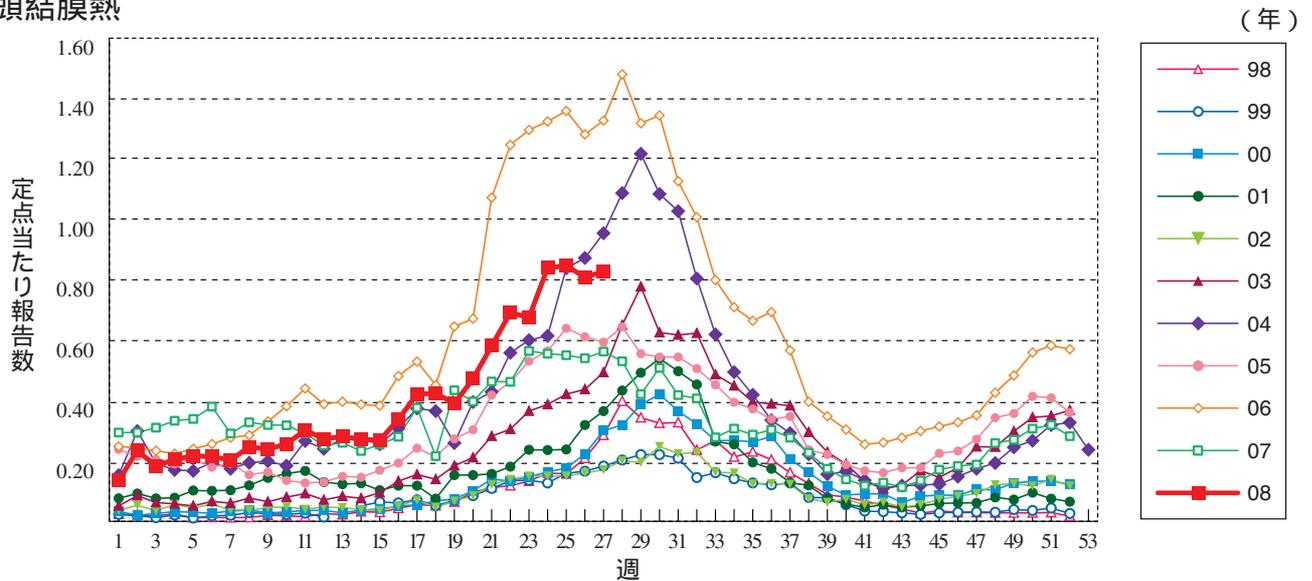
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(27週)

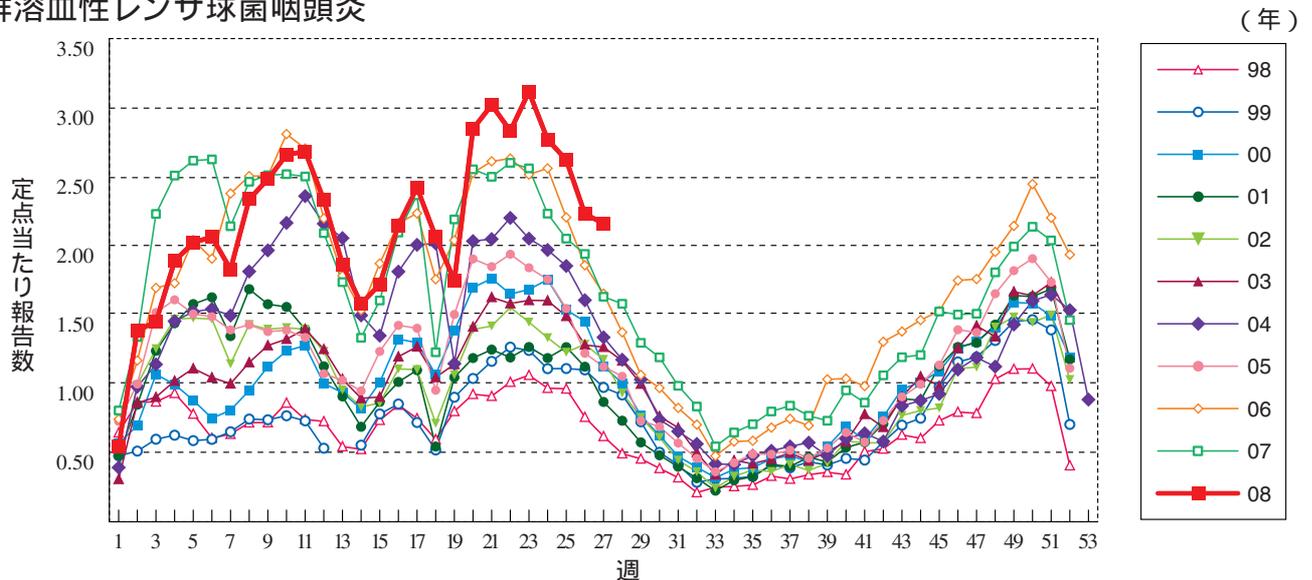
インフルエンザ



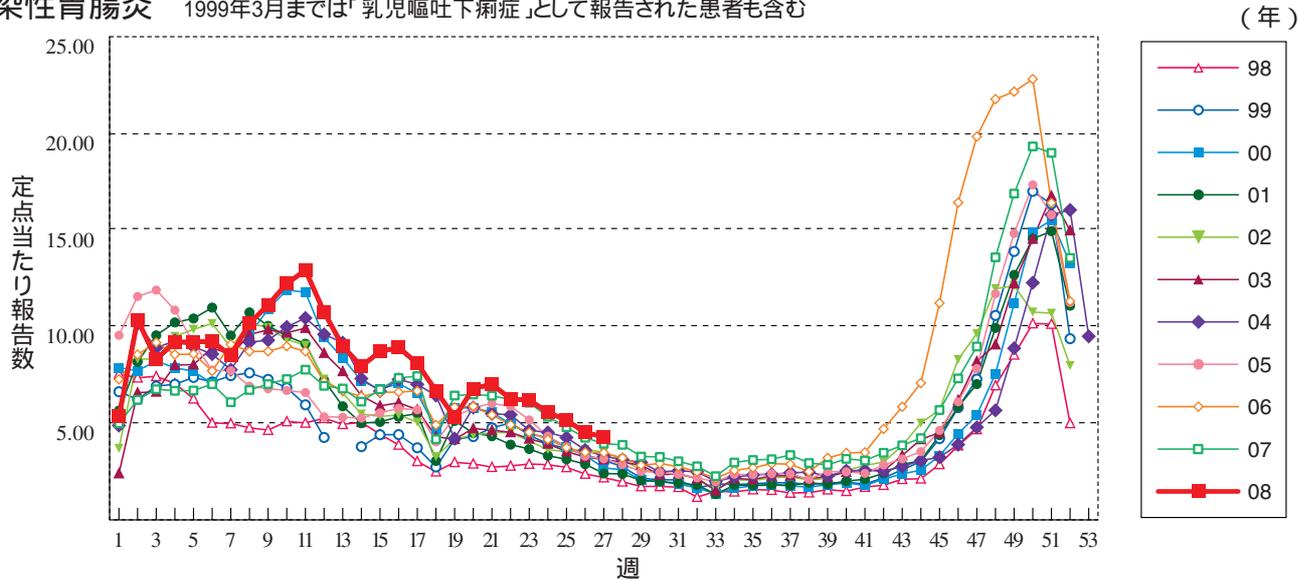
咽頭結膜熱



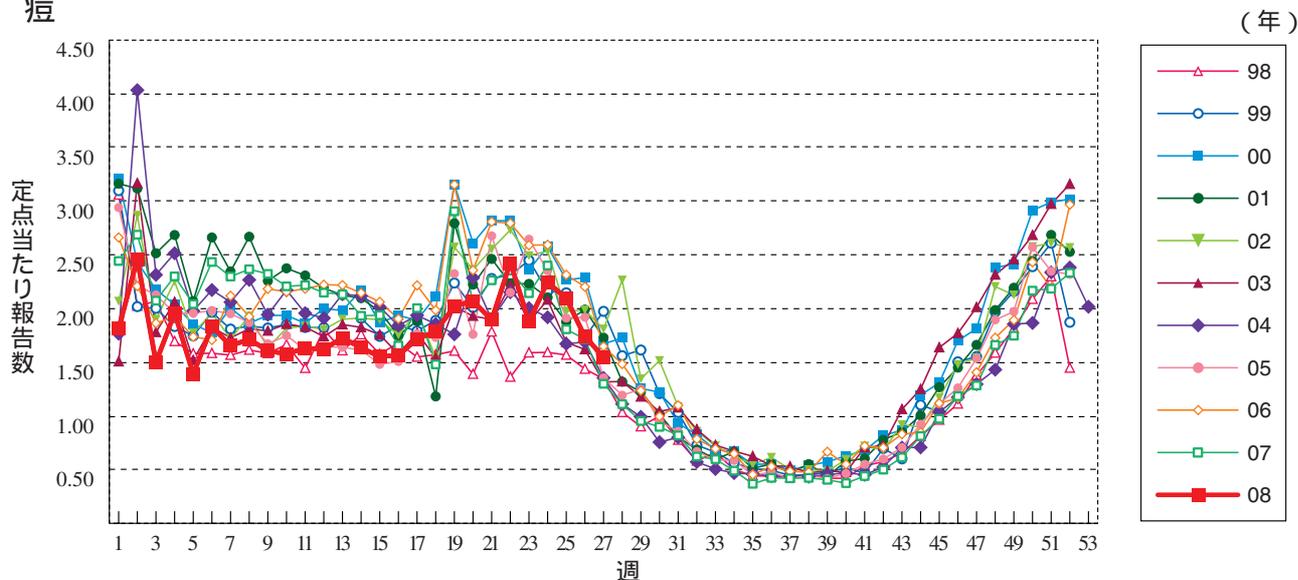
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



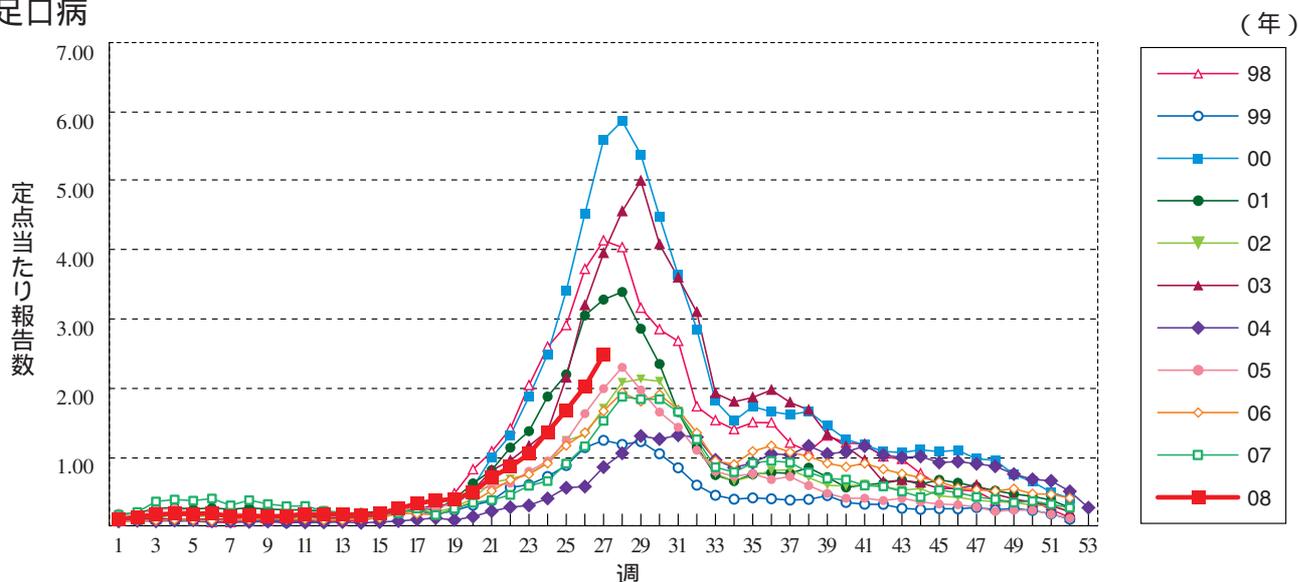
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



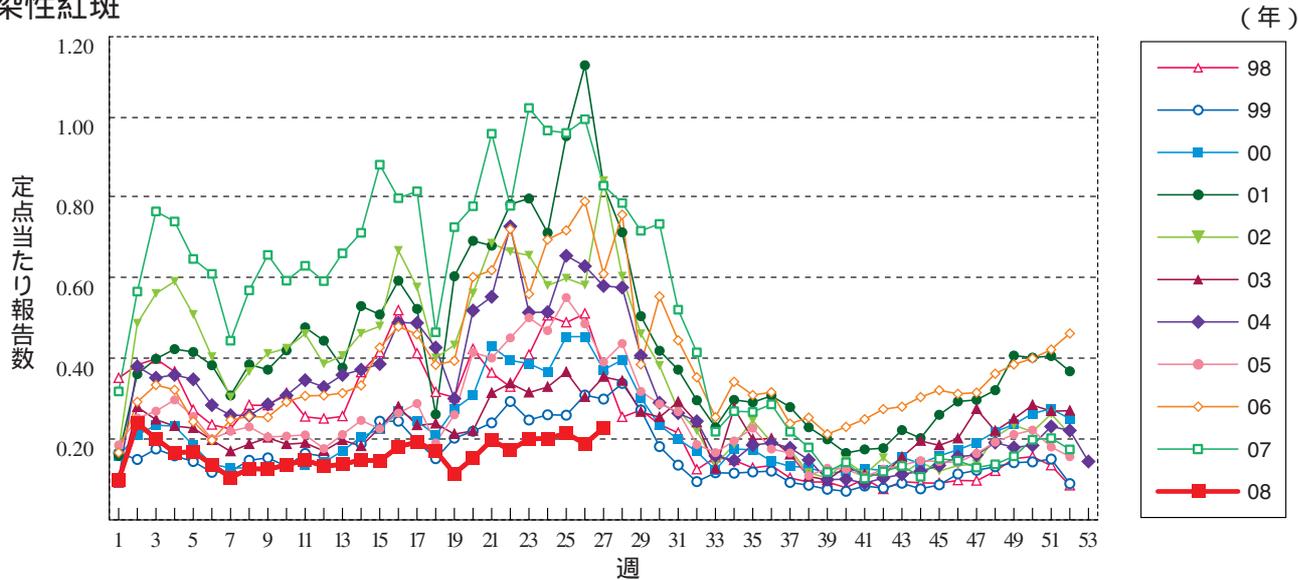
水痘



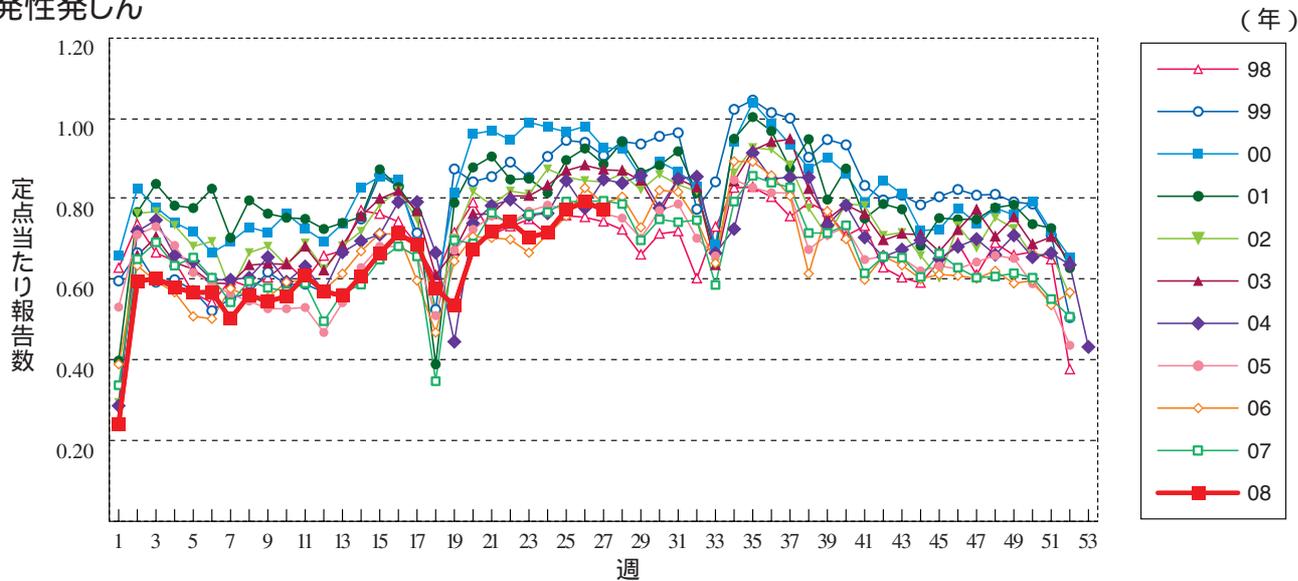
手足口病



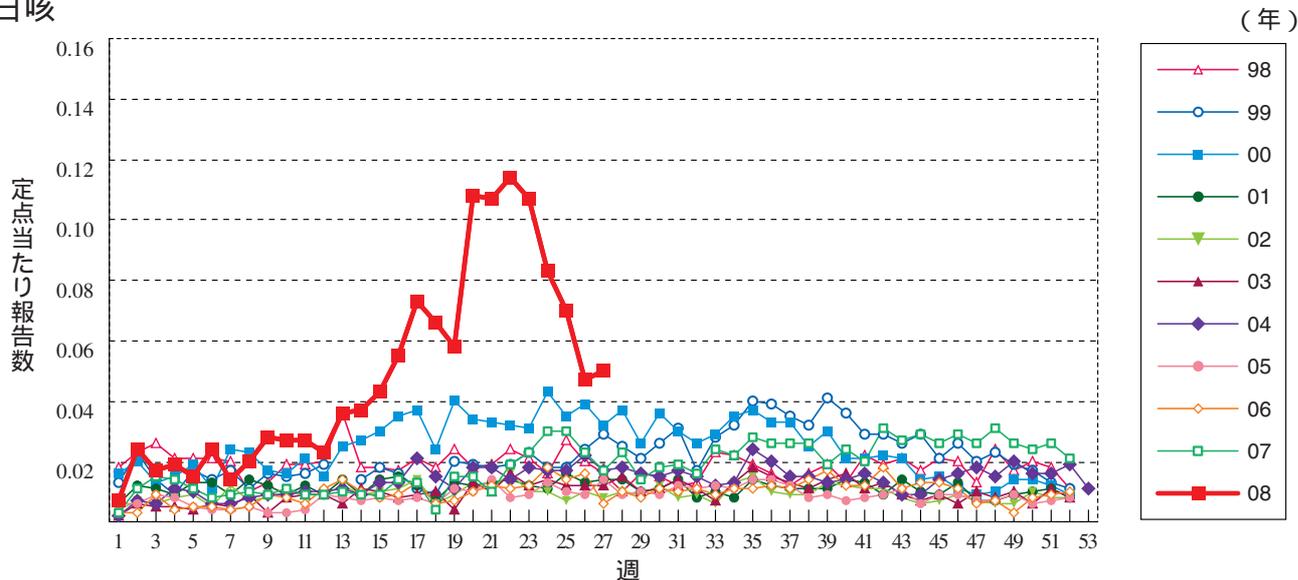
伝染性紅斑



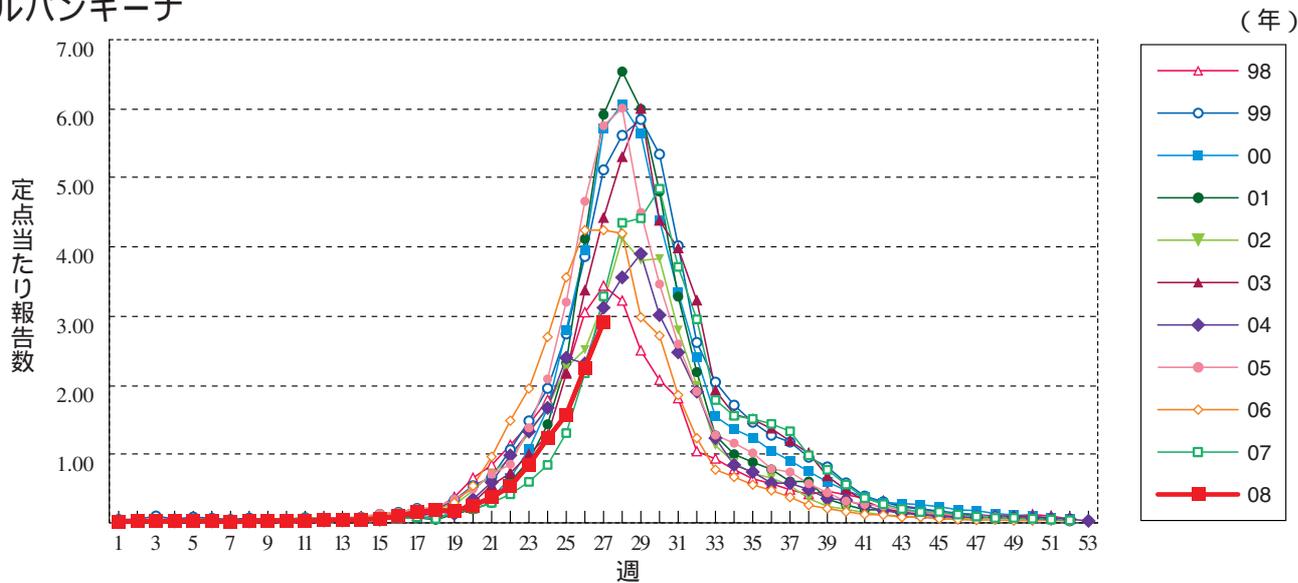
突発性発しん



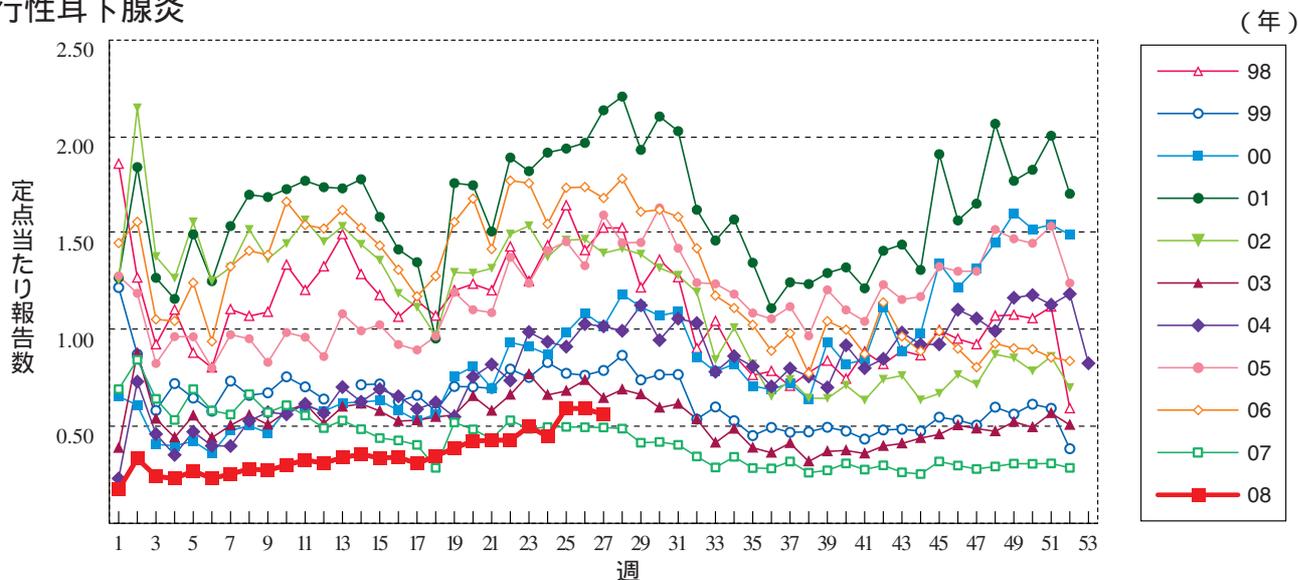
百日咳



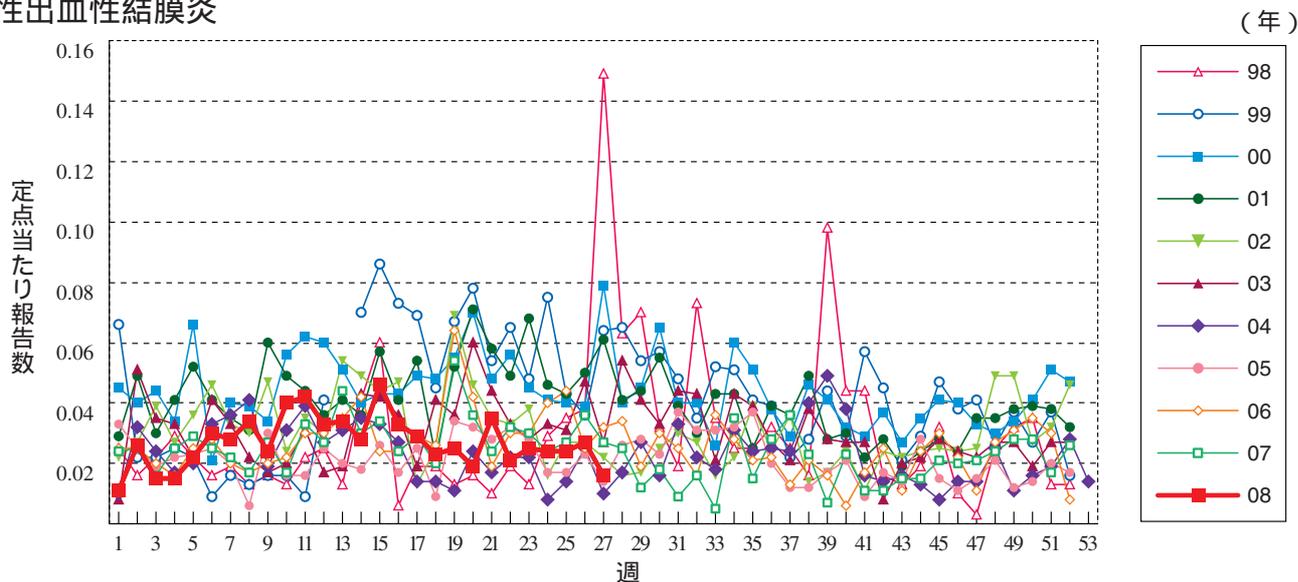
ヘルパンギーナ



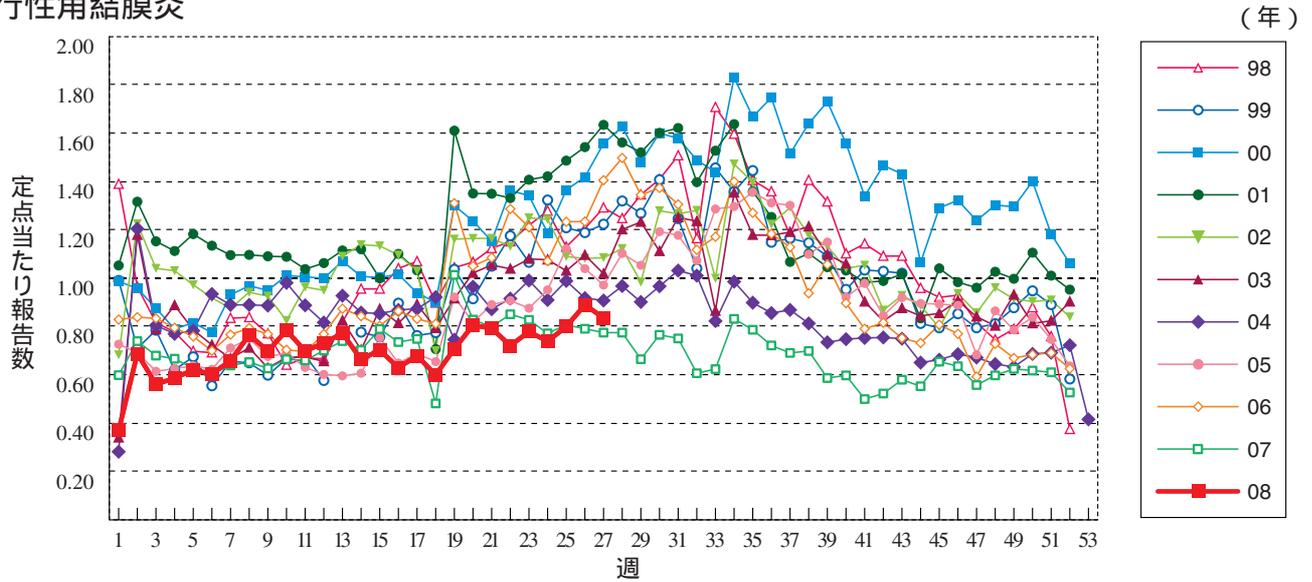
流行性耳下腺炎



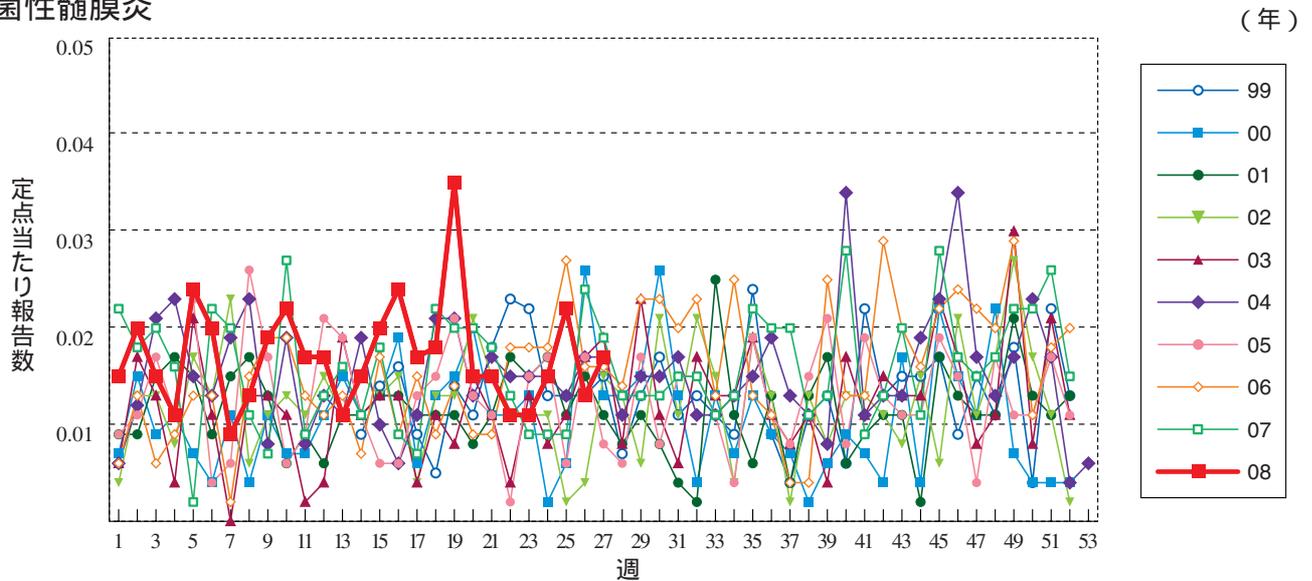
急性出血性結膜炎



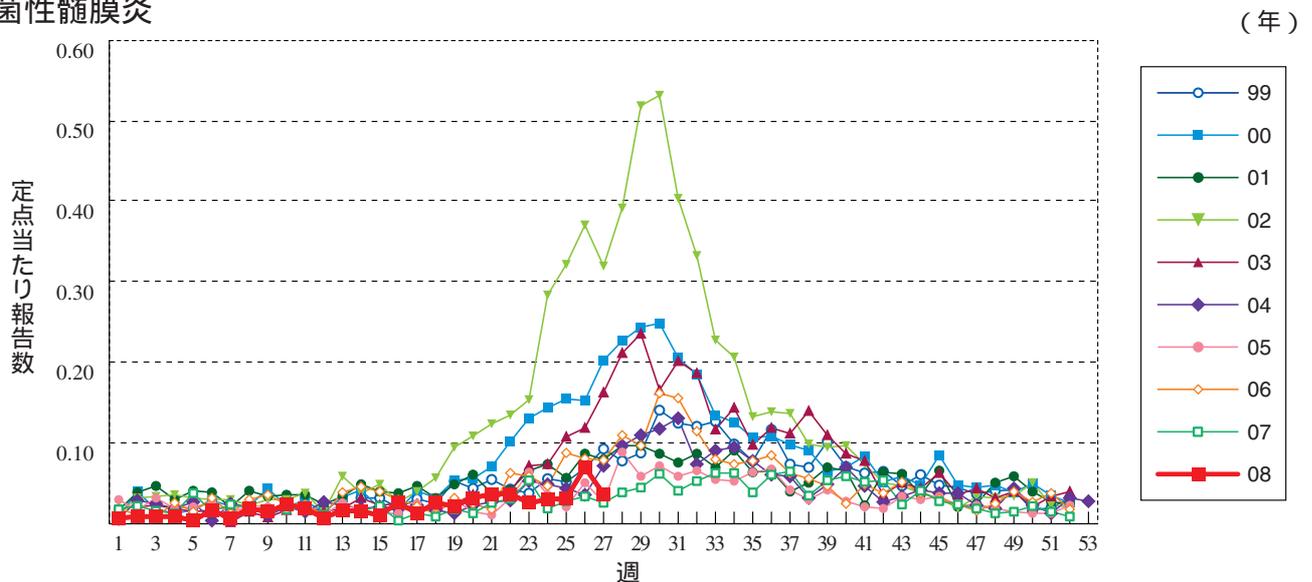
流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎

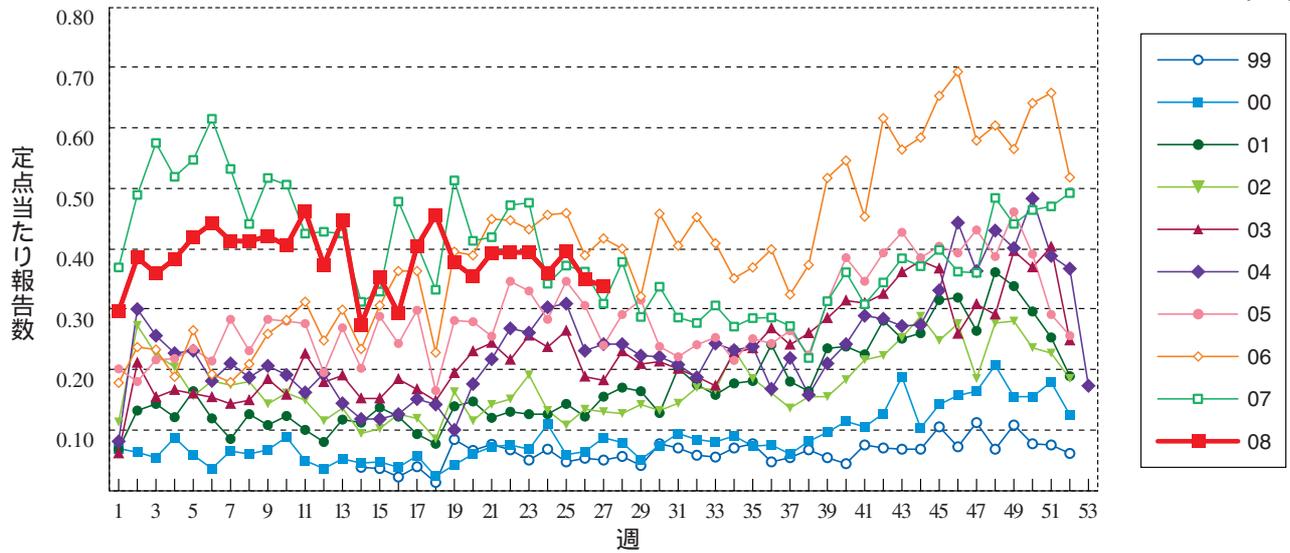


無菌性髄膜炎



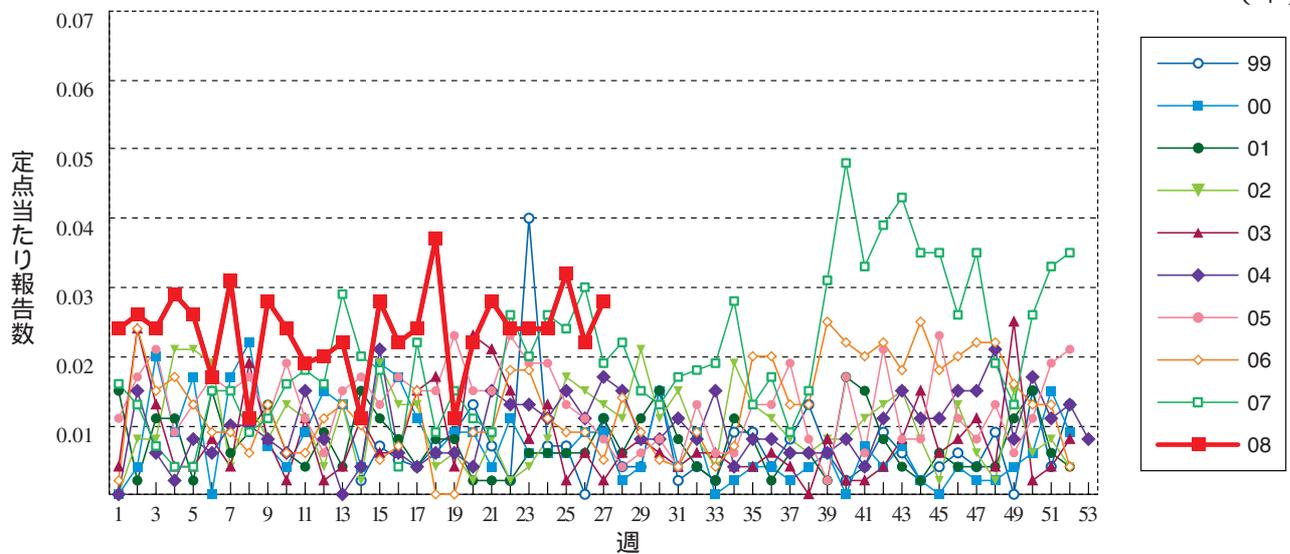
マイコプラズマ肺炎

(年)



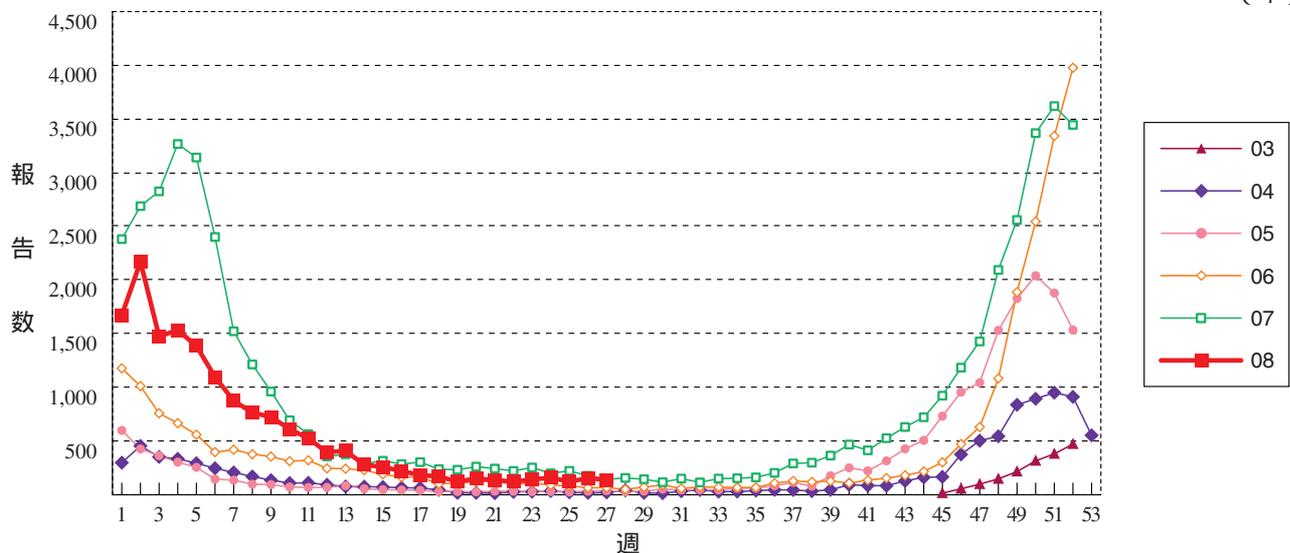
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





27週のデータ

注) 表中の報告数は7月9日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年27週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	351	12943
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	323
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	265
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	91
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	196
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	85
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	113
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	146
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	219
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	159
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	94
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	636
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	725
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	2020
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	650
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	173
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	108
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	90
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	72
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	155
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	226
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	313
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	988
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	209
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	138
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	311
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	763
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	485
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	181
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	160
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	76
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	164
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	319
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	152
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	83
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	67
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	134
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	607
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	83
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	220
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	158
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	156
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	194
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	135

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年27週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	23	7	136	141	1136	1	27	-	16	-	27	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	17	-	2	-	-	-	11	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	15	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	35	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	29	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	6	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	30	-	-	-	-	-	1	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	8	-	6	4	17	-	4	-	1	-	1	
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	11	5	38	-	-	-	2	-	2	
東京都	-	-	-	-	-	-	3	2	28	11	69	-	6	-	3	-	5	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	1	12	5	66	1	3	-	3	-	1	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	20	35	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	24	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	13	-	-	-	-	-	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	45	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	28	-	2	-	1	-	1	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	9	2	48	-	1	-	1	-	1	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	13	-	1	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	65	-	3	-	3	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	2	58	-	-	-	2	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	35	-	2	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	9	-	1	-	-	-	1	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	24	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	9	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	4	-	8	8	63	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	80	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	39	-	1	-	-	-	1	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	15	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	8	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	21	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	12	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年27週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	91	-	6	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年27週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	117	1	29
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	9
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年27週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年27週

	ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	20	2	4	-	3	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年27週

	類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	15	406	-	1	-	-	8	433	2	110	-	102	-	3	2	77
北海道	-	-	-	13	-	-	-	-	-	10	-	1	-	8	-	-	-	-
青森県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	2	5	-	-	-	-	1	4	1	1	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	1	11	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-
福島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	5	-	1	-	6	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	3	-	4	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	26	-	-	-	-	-	15	-	2	-	4	-	-	-	4
千葉県	-	-	1	10	-	-	-	-	-	17	-	2	-	3	-	-	-	2
東京都	-	-	1	38	-	-	-	-	2	92	-	14	-	5	-	2	-	10
神奈川県	-	-	1	20	-	1	-	-	2	44	-	5	-	4	-	-	-	8
新潟県	-	-	1	16	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	2	18	-	-	-	-	1	9	-	3	-	2	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	13	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	-	-	-	4
愛知県	-	-	1	27	-	-	-	-	-	30	-	7	-	6	-	-	1	4
三重県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	1	5	-	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	15	-	-	-	-	-	15	-	2	-	1	-	1	1	1
大阪府	-	-	1	38	-	-	-	-	1	53	-	15	-	19	-	-	-	8
兵庫県	-	-	1	22	-	-	-	-	-	21	-	11	-	3	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	3	-	4	-	5	-	-	-	4
広島県	-	-	1	15	-	-	-	-	-	6	-	6	-	2	-	-	-	1
山口県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	18	1	9	-	3	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5	-	-	-	2
大分県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年27週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	66	8	732	1	40	-	9	-	-	9	409	2	51	-	-	2	40
北海道	-	1	-	12	-	1	-	1	-	-	-	8	-	3	-	-	-	4
青森県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
福島県	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	1	11	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	1	5	-	2	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	2	-	19	-	-	-	-	-	-	-	12	-	2	-	-	1	5
千葉県	-	2	1	26	-	5	-	1	-	-	-	15	1	1	-	-	-	-
東京都	-	12	2	273	-	14	-	2	-	-	2	96	-	2	-	-	-	8
神奈川県	-	4	-	42	-	6	-	-	-	-	-	14	-	3	-	-	-	4
新潟県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1
富山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	1
静岡県	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-	-	25	-	2	-	-	-	2
愛知県	-	4	1	55	-	1	-	-	-	-	-	33	-	6	-	-	-	3
三重県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
京都府	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-
大阪府	-	5	-	91	-	4	-	1	-	-	1	31	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	6	-	17	-	1	-	1	-	-	-	9	-	-	-	-	1	2
奈良県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	8	1	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1
広島県	-	2	-	10	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	20	-	1	-	-	-	-	2	46	-	1	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-	1	3	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	19	-	1	-	-	-	1
大分県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
鹿児島県	-	3	-	5	-	-	-	1	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年27週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	3	234	132	10037
北海道	-	7	5	1384
青森県	-	1	-	59
岩手県	-	2	-	9
宮城県	-	3	1	19
秋田県	-	1	-	156
山形県	-	-	-	15
福島県	-	2	-	21
茨城県	-	2	-	76
栃木県	-	4	1	35
群馬県	-	1	-	77
埼玉県	-	7	6	352
千葉県	-	8	63	907
東京都	-	28	12	1063
神奈川県	-	28	24	3345
新潟県	-	-	-	37
富山県	-	3	-	7
石川県	-	-	-	7
福井県	-	-	-	17
山梨県	-	-	1	10
長野県	1	12	-	55
岐阜県	-	1	-	17
静岡県	-	16	1	217
愛知県	-	3	-	184
三重県	-	5	-	41
滋賀県	-	1	-	26
京都府	-	1	6	155
大阪府	1	17	3	337
兵庫県	-	13	4	104
奈良県	-	2	-	9
和歌山県	-	2	-	35
鳥取県	-	-	-	5
島根県	-	-	-	4
岡山県	1	13	1	126
広島県	-	12	3	146
山口県	-	-	-	17
徳島県	-	1	-	3
香川県	-	1	-	10
愛媛県	-	1	-	11
高知県	-	1	-	5
福岡県	-	19	-	658
佐賀県	-	-	-	6
長崎県	-	3	-	32
熊本県	-	7	-	87
大分県	-	2	1	91
宮崎県	-	1	-	8
鹿児島県	-	2	-	21
沖縄県	-	1	-	31

*鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年27週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	210	0.05	2500	0.83	6528	2.16	12965	4.29	4683	1.55	7475	2.47	690	0.23	2339	0.77	150	0.05
北海道	7	0.03	162	1.14	349	2.46	343	2.42	297	2.09	62	0.44	36	0.25	71	0.50	3	0.02
青森県	6	0.09	28	0.67	37	0.88	78	1.86	89	2.12	2	0.05	8	0.19	30	0.71	-	-
岩手県	-	-	16	0.40	88	2.20	127	3.18	68	1.70	5	0.13	25	0.63	20	0.50	-	-
宮城県	-	-	31	0.52	136	2.27	349	5.82	85	1.42	35	0.58	16	0.27	47	0.78	1	0.02
秋田県	-	-	26	0.74	80	2.29	108	3.09	54	1.54	7	0.20	9	0.26	17	0.49	1	0.03
山形県	-	-	24	0.80	84	2.80	140	4.67	80	2.67	33	1.10	10	0.33	28	0.93	1	0.03
福島県	2	0.03	51	1.06	111	2.31	162	3.38	83	1.73	12	0.25	17	0.35	38	0.79	3	0.06
茨城県	-	-	59	0.79	202	2.69	268	3.57	121	1.61	65	0.87	35	0.47	37	0.49	2	0.03
栃木県	-	-	11	0.23	83	1.73	130	2.71	72	1.50	35	0.73	11	0.23	42	0.88	12	0.25
群馬県	-	-	60	0.97	90	1.45	309	4.98	72	1.16	233	3.76	24	0.39	46	0.74	-	-
埼玉県	-	-	214	1.36	614	3.91	927	5.90	345	2.20	217	1.38	59	0.38	137	0.87	8	0.05
千葉県	15	0.08	94	0.75	473	3.75	692	5.49	298	2.37	140	1.11	41	0.33	97	0.77	22	0.17
東京都	7	0.02	121	0.83	385	2.64	867	5.94	194	1.33	188	1.29	37	0.25	106	0.73	6	0.04
神奈川県	1	0.00	196	0.96	556	2.71	1082	5.28	308	1.50	377	1.84	75	0.37	177	0.86	7	0.03
新潟県	12	0.13	97	1.62	140	2.33	171	2.85	152	2.53	154	2.57	51	0.85	57	0.95	13	0.22
富山県	1	0.02	19	0.66	80	2.76	162	5.59	34	1.17	181	6.24	-	-	16	0.55	-	-
石川県	-	-	20	0.69	48	1.66	91	3.14	16	0.55	199	6.86	5	0.17	24	0.83	3	0.10
福井県	-	-	14	0.64	47	2.14	135	6.14	36	1.64	22	1.00	1	0.05	16	0.73	2	0.09
山梨県	-	-	8	0.35	37	1.61	50	2.17	23	1.00	3	0.13	5	0.22	3	0.13	-	-
長野県	2	0.02	23	0.42	187	3.40	299	5.44	158	2.87	257	4.67	30	0.55	26	0.47	4	0.07
岐阜県	1	0.01	29	0.55	55	1.04	125	2.36	61	1.15	56	1.06	3	0.06	20	0.38	3	0.06
静岡県	1	0.01	50	0.58	159	1.85	350	4.07	99	1.15	318	3.70	13	0.15	78	0.91	3	0.03
愛知県	4	0.02	136	0.76	417	2.32	683	3.79	264	1.47	643	3.57	10	0.06	162	0.90	6	0.03
三重県	3	0.04	26	0.58	76	1.69	217	4.82	52	1.16	307	6.82	2	0.04	42	0.93	-	-
滋賀県	-	-	39	1.18	33	1.00	132	4.00	31	0.94	96	2.91	2	0.06	18	0.55	-	-
京都府	-	-	34	0.47	84	1.15	242	3.32	103	1.41	170	2.33	1	0.01	45	0.62	3	0.04
大阪府	2	0.01	218	1.14	395	2.07	827	4.33	257	1.35	586	3.07	29	0.15	168	0.88	5	0.03
兵庫県	2	0.01	141	1.09	194	1.50	575	4.46	199	1.54	278	2.16	13	0.10	94	0.73	6	0.05
奈良県	-	-	15	0.43	29	0.83	113	3.23	46	1.31	73	2.09	4	0.11	21	0.60	1	0.03
和歌山県	-	-	3	0.10	34	1.13	88	2.93	49	1.63	12	0.40	-	-	21	0.70	4	0.13
鳥取県	-	-	8	0.42	56	2.95	73	3.84	13	0.68	50	2.63	4	0.21	10	0.53	-	-
島根県	-	-	4	0.17	45	1.96	139	6.04	27	1.17	31	1.35	4	0.17	27	1.17	-	-
岡山県	15	0.18	17	0.31	44	0.81	269	4.98	41	0.76	108	2.00	18	0.33	23	0.43	2	0.04
広島県	1	0.01	47	0.65	100	1.39	224	3.11	98	1.36	192	2.67	27	0.38	64	0.89	4	0.06
山口県	-	-	31	0.62	179	3.58	240	4.80	83	1.66	123	2.46	1	0.02	59	1.18	2	0.04
徳島県	-	-	13	0.57	25	1.09	49	2.13	33	1.43	73	3.17	1	0.04	18	0.78	-	-
香川県	-	-	29	1.04	15	0.54	158	5.64	34	1.21	97	3.46	8	0.29	20	0.71	-	-
愛媛県	-	-	37	1.00	69	1.86	159	4.30	62	1.68	126	3.41	3	0.08	37	1.00	3	0.08
高知県	-	-	12	0.40	24	0.80	78	2.60	55	1.83	15	0.50	6	0.20	11	0.37	-	-
福岡県	-	-	107	0.89	273	2.28	578	4.82	190	1.58	232	1.93	15	0.13	119	0.99	13	0.11
佐賀県	-	-	5	0.22	24	1.04	34	1.48	24	1.04	113	4.91	1	0.04	33	1.43	-	-
長崎県	-	-	11	0.25	50	1.14	133	3.02	26	0.59	134	3.05	-	-	25	0.57	-	-
熊本県	-	-	27	0.56	44	0.92	260	5.42	54	1.13	120	2.50	-	-	59	1.23	3	0.06
大分県	-	-	38	1.06	88	2.44	238	6.61	51	1.42	264	7.33	13	0.36	46	1.28	-	-
宮崎県	-	-	25	0.69	106	2.94	236	6.56	39	1.08	469	13.03	3	0.08	42	1.17	-	-
鹿児島県	-	-	116	2.11	69	1.25	197	3.58	75	1.36	518	9.42	9	0.16	22	0.40	-	-
沖縄県	128	2.21	8	0.24	14	0.41	58	1.71	32	0.94	44	1.29	5	0.15	20	0.59	4	0.12

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年27週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	8792	2.91	1697	0.56	11	0.02	564	0.84	8	0.02	17	0.04	156	0.34	13	0.03	139	
北海道	63	0.44	24	0.17	-	-	24	0.83	-	-	-	-	5	0.22	-	-	17	
青森県	58	1.38	7	0.17	-	-	8	0.73	-	-	-	-	6	1.00	-	-	-	
岩手県	23	0.58	8	0.20	-	-	15	1.07	-	-	-	-	9	0.45	-	-	4	
宮城県	191	3.18	16	0.27	2	0.17	5	0.42	-	-	-	-	13	1.08	-	-	4	
秋田県	65	1.86	45	1.29	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	66	2.20	21	0.70	-	-	1	0.13	-	-	-	-	4	0.40	-	-	-	
福島県	87	1.81	12	0.25	-	-	14	1.17	-	-	-	-	9	1.29	3	0.43	16	
茨城県	136	1.81	15	0.20	-	-	33	1.94	-	-	-	-	4	0.31	-	-	-	
栃木県	203	4.23	32	0.67	-	-	8	0.67	-	-	-	-	4	0.57	-	-	1	
群馬県	428	6.90	75	1.21	-	-	23	1.64	-	-	-	-	6	0.75	-	-	-	
埼玉県	776	4.94	102	0.65	1	0.02	21	0.50	-	-	-	-	14	1.56	2	0.22	2	
千葉県	410	3.25	103	0.82	-	-	25	0.76	-	-	1	0.11	-	-	1	0.11	3	
東京都	460	3.15	100	0.68	1	0.03	25	0.66	-	-	-	-	3	0.13	-	-	-	
神奈川県	550	2.68	81	0.40	-	-	64	1.52	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
新潟県	23	0.38	36	0.60	-	-	11	1.00	-	-	-	-	2	0.17	3	0.25	1	
富山県	59	2.03	6	0.21	-	-	6	0.86	-	-	-	-	10	2.00	-	-	2	
石川県	79	2.72	-	-	-	-	4	0.57	-	-	-	-	2	0.40	-	-	1	
福井県	54	2.45	15	0.68	-	-	-	-	1	0.17	-	-	2	0.33	-	-	-	
山梨県	22	0.96	5	0.22	-	-	6	0.67	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-	
長野県	180	3.27	19	0.35	-	-	3	0.27	-	-	-	-	1	0.09	-	-	9	
岐阜県	122	2.30	108	2.04	1	0.09	5	0.45	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	
静岡県	336	3.91	45	0.52	-	-	15	0.75	-	-	-	-	2	0.22	-	-	3	
愛知県	943	5.24	113	0.63	1	0.03	6	0.18	1	0.07	-	-	3	0.20	2	0.13	-	
三重県	230	5.11	7	0.16	-	-	3	0.25	-	-	1	0.11	-	-	-	-	1	
滋賀県	115	3.48	52	1.58	-	-	3	0.38	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	
京都府	106	1.45	25	0.34	1	0.06	11	0.61	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
大阪府	443	2.32	98	0.51	1	0.02	26	0.55	-	-	-	-	6	0.46	-	-	11	
兵庫県	444	3.44	69	0.53	-	-	31	0.89	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	
奈良県	97	2.77	23	0.66	-	-	2	0.22	-	-	1	0.17	-	-	-	-	1	
和歌山県	47	1.57	14	0.47	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
鳥取県	91	4.79	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60	-	-	-	
島根県	31	1.35	3	0.13	-	-	-	-	2	0.25	1	0.13	3	0.38	-	-	-	
岡山県	91	1.69	14	0.26	-	-	7	0.58	-	-	1	0.20	1	0.20	-	-	2	
広島県	270	3.75	29	0.40	-	-	30	1.58	-	-	-	-	3	0.14	-	-	1	
山口県	116	2.32	11	0.22	-	-	5	0.56	-	-	-	-	1	0.11	-	-	2	
徳島県	94	4.09	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	116	4.14	6	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	346	9.35	11	0.30	-	-	24	3.00	2	0.33	2	0.33	2	0.33	-	-	-	
高知県	143	4.77	32	1.07	-	-	6	2.00	-	-	-	-	6	0.86	-	-	-	
福岡県	198	1.65	94	0.78	2	0.08	33	1.27	-	-	1	0.07	-	-	-	-	13	
佐賀県	78	3.39	68	2.96	-	-	-	-	-	-	2	0.33	1	0.17	-	-	-	
長崎県	51	1.16	9	0.20	1	0.13	3	0.38	-	-	1	0.08	1	0.08	-	-	-	
熊本県	88	1.83	32	0.67	-	-	23	2.56	-	-	2	0.13	-	-	-	-	-	
大分県	104	2.89	6	0.17	-	-	9	1.80	-	-	-	-	1	0.09	-	-	-	
宮崎県	101	2.81	75	2.08	-	-	5	0.83	-	-	-	-	1	0.14	2	0.29	3	
鹿児島県	51	0.93	19	0.35	-	-	7	1.00	-	-	-	-	5	0.42	-	-	1	
沖縄県	7	0.21	8	0.24	-	-	10	1.00	2	0.29	-	-	21	3.00	-	-	37	

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年27週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	13
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年27週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第10巻 第27号 2008年7月18日発行
 発 行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。